

ふるさつ

5

慶応義塾大学整形外科同窓会誌

ふるさつ  
慶応義塾大学医学部整形外科同窓会誌  
1965.5

健保採用

# 術後の神経麻痺

神経痛・リウマチ・筋肉痛に

強力・迅速・確実な効果の発現

活性持続型ビタミン

# アリナミン®F50

「タケタ」

アリナミンは神経組織に高濃度に移行して、ビタミンB<sub>6</sub>代謝を著しく促進するとともに神経切断後の再生を促進する。また術後の炎症性浮腫によるしびれ、麻痺、疼痛等の神経症状を改善する。普通このようなアリナミンの作用を高度に活用するため、1日量150~300mgの内服あるいは100~150mgの静注が行なわれている。

## その他の作用

●末梢の神経・筋肉の活動を賦活し、鎮痛効果を現わす。●手術侵襲による生体機能の減弱を防止する。●頭部外傷後の脳波を改善する。術後の神経麻痺・腸管麻痺・膀胱麻痺・心臓障害・神経痛・神経炎・リウマチ・筋肉痛・腰痛・知覚障害・椎間板ヘルニア・脊髄炎・倦怠感・胃下垂・便秘・心筋障害・高血圧・低血圧・脳溢血後遺症・月経困難症・自律神経失調症・難聴・眼精疲労・仮性近視・視神経炎等。

## 〔高単位製剤〕

アリナミンF糖衣錠 25mg・50mg・100mg

アリナミンF注射液 10ml 25mg・20ml 50mg

アリナミン糖衣錠 25mg・50mg

他に アリナミンF糖衣錠(5mg)・アリナミンF注射液(5mg 1ml・10mg 2ml)・アリナミンF10倍散・アリナミン F100倍散・アリナミン糖衣錠(5mg)・アリナミン注射液(5mg 1ml・10mg 2ml)があります。



大阪市東区道修町2丁目27 武田薬品工業株式会社

(アリ壁A51)

ふりかえり



慶応義塾大学医学部  
整形外科同窓会々誌

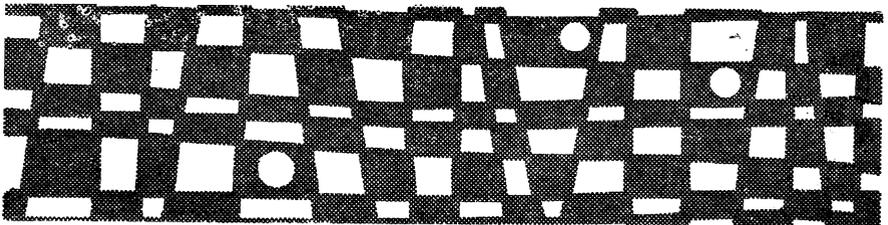
5

1965

目

次

最少努力主義をさらう……………	岩原寅猪……………	(1)
湯山先生を偲んで……………	柴垣栄三郎……………	(2)
岩原先生小伝……………	佐手誰太郎……………	(3)
ローマ日記から……………	鷺谷澄夫……………	(5)
イタリヤ四方山話……………	野口朝生……………	(9)
欧米飛びあるき余話……………	木城卓二……………	(16)



ふ る さ と 5

欧州旅日記より……………岡田衛生…(19)

オリンピックを顧りみて……………花岡英弥…(22)

近況報告……………(25)

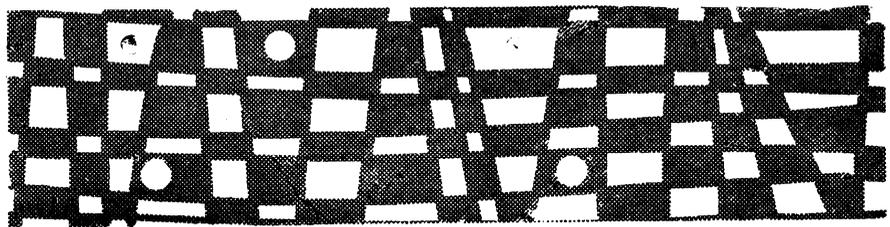
新入局者紹介……………(29)

教室の業績……………(39)

人事……………(48)

編集後記……………(51)

表紙題字 前田和三郎



# 最少努力主義をきらう

岩 原 寅 猪

最少の努力で最大の効果を得る。それは経済学の原理かもしれない。そしてそれは現代世相の一面でもある。機械文明の行方がその方にあり、物質文明の行末がそこにあることは頷ける。

しかし、学問の世界、科学の世界はスポーツの世界、角力の世界などと同じように実力の世界であって、こと学問、科学に関する限り年令や階級などは無役である。ちからに従って序列が付き、新旧、上下の交替が速かに行われる。

医学の世界では実力が養成されなければならない。それには努力が要る。最少の努力で最大の効果を狙う態の努力では間に合うべくもない。

一人前のことをしていたのでは一人前のことしかできない。学問修業の時代には二人前三人前勉強して実力をつけたいものである。のびのよい若き日の勉強こそは、その人の将来を決するもので、安易な修業によって大きな将来は約束されない。一段の勉強、最大の努力が望まれる。

## 湯山先生を偲んで

柴垣榮三郎

(三十八回生)

昭和四十年二月二十六日朝、突然「湯山先生が急逝さる」と云う知らせを受け一同愕然としました。

永らく肺・心不全で苦しみながらも研究に診療にたえず努力を惜しまなかつた彼に、私共が最も心配していた最大の不幸が遂にやって来ました。謹んで湯山幸明先生のご冥福を祈りました。知るところによると現医局長のご不幸は初めてとの事、真によき友、よき協力者、よき指導者を失つたものと惜しまれてなりません。

学生時代数回に亘る胸部手術の結果一命はとりとめたにもかゝらず、肺・心の不全は尚重く、医者としての生活は彼にとつて無理に思われたが、岩原教授の暖かいお心使いにより体力的にも又健康的にも好条件の国立箱根療養所に研究の場所を与えられ、彼自身希望に満ちた生活を送っていたが運命のいたずらは遂に彼を閉してしまいました。

入局時代の湯山先生の健康状態はそれでも可成良好の様でしたが他界される一、二年前頃よりは階段を昇る事すらも出来かねる程にまで肺・心不全は悪化しておりました。そんな苦しみにもかゝらず週一度は国立箱根療養所よりはるばる慶応病院筋電図室まで出掛けて来て検査を担当し、又カンファレンスにも出席し体力的に考えられぬ程の学問、仕事の情熱を持ち続けていました。彼は電気関係に非常にくわしく専門家同様な技術までも持ち筋電図科に残していた功績も数多くあります。人並の体を持っていたならば必ずME関係の仕事でも名を残したに違いありません。惜しい人を我々は失ってしまいました。

彼は頭腦明晰、静かな敢闘精神、豊かな責任感を持った人でした。

静かな箱根療養所官舎で愛妻愛児を案じながら三十五才の苦しかった短かき生涯を悲涙の内に閉じました。昭和四十年二月二十六日

重ねて、合掌し故湯山幸明先生のご冥福をお祈り致します。

# 岩原先生小伝

佐手 誰太郎

岩原先生土佐の人なり。その生家かの坊さん簪買うたの播磨  
因橋のたもとと云うは伝説なり、幼名鶴亀、長じて寅猪を名乗  
る（誰だトラチョなどと失礼な読み方をする奴は）性その名の  
示す如く猛にして剛。桂ヶ浜（詳ならず）にて水練は神伝流を  
よくす。或人問う「よく虎の、又猪の大海を泳ぐ事あるや」と  
答えていわく「大海に潮吹く鯨も魚ならず何ぞ虎、猪の水を恐  
るる事あらんや」と。かくて先生心身を鍛えられるや、やがて  
笈を負いて東関に出づ。慶応義塾にて医学を学ぶ。卒業間近く  
してみめ美はしき才女高千夫人をめとる。

やがて外科の医局に入り、整形の独立と共に整形に移る。往  
時の事は詳ならず。唯聞く二、三の逸話。戦争中の軍服を着た  
先生、意気や壮、四国は善通寺に於ける活躍目を見張るばかり  
なり、云云。誠、虎は千里往って千里還る（註、猪は往きつぱ  
なし）無事戦後の教壇に還えらる。も一つ聞く愉快なる逸話、  
外科医局時の事ならん。或る年運動会などあり、先生敢然と走  
る。その着何番かは知らざれど居並ぶ観衆の洪笑を買うと、か  
くて先生以後運動会にて走る事を拒むと、如何ならん事。先人  
の云い伝うる所を述べん「先生以後走らざるは何か」と。曰く  
「かの時の先生のパンツに由来す」と、「それは何か」と曰く

「余りにパンツ大なればカクシ所の外に現はれ観衆の目にふれ  
たればなり」と。「異なり、果してパンツの大なりや、カクシ  
所の大なりや」と。又曰く「古来カクシ所の大なるは馬と狸な  
り、未だ聞かず虎、猪のカクシ所の大なるを」と云云。

終戦間近、先生既に慶応に在り、その頃の学生ならん、或時  
赤狗、ブチ狗、更にはガマ等を料理して先生を囲み一夕の宴を  
なす。空襲激しく物資欠乏の折柄皆食す。先生曰く「やっぱり  
牛よりはうまくない」と。宜なる哉、同様の心持す。

かくて大詔をかしくみ混乱の戦後に移り変る。時に昭和二〇  
年九月、焼土の東京信濃町一帯も同様、僅に慶応病院別館とそ  
の他僅を残すのみ。此の頃先生、埼玉県は蓮田の里に住居す。  
陸軍々医中尉の軍服（尤も肩章も、襟章もとってはあったがね）  
に胸を張り（腰に軍刀ならぬ辨当ひっさげ、日夜満員電車にゆ  
られて勤務に励む。苦善精勵の様、又元氣旺盛なる活躍、正に  
当時の慶応医学、否日本整形外科学会の範たり、異怖の念さえ  
禁じ得ず。診察の折柄よく大声叱咤「岩原中尉の診断に間違  
いはない、注射などする必要なし、家に帰って丸干しでも喰べ給  
え」。ひよろ／＼患者ぶったまげては帰投す。

この頃より先生家にあつては自給自足の為寸暇をさいては鎌  
を肩に、額に汗流して甘蔗を作る、時にリックにつめては医局  
員に振舞う。皆喜び食す。翌年には居を天下の嶮箱根山の麓風  
祭に移す。農耕益々励み次第に本格的となる。そして又逸話を  
残す。当分の間は蓮田に引続き甘蔗をよくするもやがてはキャ  
ベツ、カボチャ、大根、更には沢庵漬と次第に疎菜に及ぶ。

或時弟子の一人そのカボチャの大なるを賞れば先生直ちに土俵に持帰らん事をすゝむ。弟子翌日曰く「野菜のなき折柄幸甚なれども電車にて運ぶにはチト大に過ぎたり」と。又、弟子の沢庵を頂き帰らる者あり、曰く「美味なれども車中の臭気の強烈なる事云はん方なく聊か辟易す」と、さもあらん事、人間に親しみ易き臭なればこそ、正に先生晴耕雨読、手にグローヴの如き手袋して農耕大いに大地に親しむ。或弟子先生に菅笠を贈る。書して曰く「篤農先生」と。

戦後数年先生次第に穀類、疎菜の類は本職にまかせ、その趣味、ダリヤ、バラ作りに及ぶ。又西爪をよく作る。大切にすること。或時狗の鼻をよぎるや先生烈火の如く怒り大枝もて庭中を追い走り遂に制す、とか。されば西爪も大にして美味なる事云うまでもなし。先生又庭をよく手入れす。その几張面なる事常に雑草を見ず。雨降らば茅を出す雑草、茅を出さば之をむしりとり先生、雑草勝つか、先生勝つか、人類遂に雑草を制す。後年紅毛人の先生を訪ねその庭の清疎なるをたゞえしとか、宜なる哉。

先生又宴会をこのみ弟子共を集めて飲み且つ食う。酔う程に目をほそめ湯の街エレージから始まりもろくのザレ唄顔を赤くして歌う。又大食なり正月等ミカンを手にするればたち所に二十数個を食す。

やがて先生居所三軒、千歳鳥山に寓す。悠々自適今は既に甘庶なく、カボチャもやらず、西爪も作らず、唯々学問に励まる切に祈る何時迄も御壮健ならん事を。

(フィクションを含む)

# ILOSONE



## ● 吸収が早く 高い血中濃度を示す新抗生物質

〔特長〕

アイロゾンは耐性菌の極めて少ない広範囲有効抗生物質です。特にブドウ球菌、連鎖球菌肺炎球菌には、強い抗菌力を示します。アレルギー症状は殆んどない、胃腸障害その他副作用は極めて稀です。

〔健保適用〕 単位当り薬価純 100mg 47・00  
〔包装〕 (10mg力価含有) 25T・100T

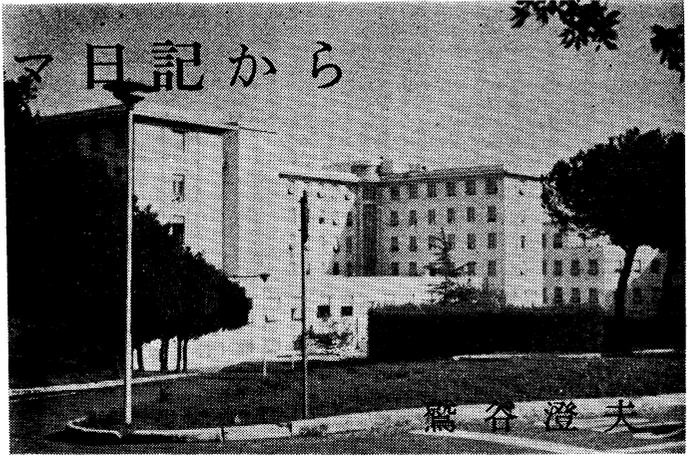
# アイロゾン

エリスロマイシン・エストレート

シオノギ製薬

大阪・東京・福岡・札幌

## ローマ日記から



フオラニーニ研究所

(ローマ大学)

十二月卅一日(木) 晦大日

T教授はローマ労災病院の整形外科主任である  
数日前彼は小生を病院の自室に呼んで所番地を  
示し、大晦日のパーティーに招待したいといっ

た。以来小生は可成り緊張してこの日を待った。廿二時の約束なので廿時に黒のダブル、縞のタイ、銀のカフスのいでたちでフオラニーニ研究所の独身寮を後にする。地図でみる限りT邸はローマ市心を距て、凡そ反対側にあたる。幾分混みがちなバスをやめて市電を利用する。通りはまだ人通りがあり、クリスマスイブの不気味なまでに静まりかえっていたそれとは違う。コロセオ前で電車を一つかえ、終着駅をやりすす。ひげのそりあとが青い車掌は駅名一つ云うでなく、うろうろしている小生には何の関心も示さず夢中で客の婦人と話し合っている。やむなく頭の中の地図の頃合を見計って降りる。いつの間にか廿一時である。全く人通りがなくなる。所々のひっそりした人だまりはダンスホールの開場をまつ人々だ。何かしらヒッソリとしてこれからダンスを楽しむようにぎにぎしきのないのをフト気にしながら通りから四辻へ、四辻から通りへと足を選ぶ。どうやら大分ピンボケなところに下車した様子である。こんなとき心をかすめる寂寥感とノスタルジヤは名状のほかである。

それでも地図はいつの間にか正確に小生をT教授のアパートの玄関口に導いて呉れた。廿二時五分前である。ドアを押しあけるととき二、三人の他の訪問者と一緒になる。アパートの玄関ホールに人ってエレベーターの前に立ったものの、T教授が何階に住むか不詳である。このアパートは異例なことに表札入れが見当らない。

「トランクウィリー家へ行きたいのですが」と、陽気に話し

合っている母子連れに話しかける。

「私達もそこへ行くのですが何階か分りません。今主人が来ますから一寸待ちましょう」と云う。

母親と思われる方は五十才を少ししたか、娘は廿才というところ。オレンジからとったオーデコロンの香りを漂わせて自分の間もなく話す。話題はどうやらシーズンたけなわのオペラの話である。トスカ、マダムバタフライ、プッチーニ等という固有名詞丈が耳に届く。

可成りゴツイ感じの五十年輩の紳士と四人でエレベーターで二階につくとT邸である。定刻をすぎること五分、開け放たれた部屋々には紳士淑女が充ちている。シルバータイがあざやかなT教授が小ばしりで現れ、小生の肩を抱え、小づくりの美しい婦人を「妻です」と紹介する。夫人は柔く握り返した手を離すと

「集った人達はT一家の人達で、大毎日の夜の古い習慣に従ってこれからいろいろ行事が始まるからご期待を……」

と、云つて人ごみに消える。

豪華な部屋づくりと素朴なまでに古い家具とがあざやかな対照を示す。二、三組の夫婦連れと自己紹介をし合っているとT氏が一人の娘さんを連れてにこやかに近づいて来る。

「末の娘です。今夜は皆カップルだが貴方は一人だ。そこでこの十四才のパオラが貴方のパートナーだ。いいかね。」

「勿論です。どうも有難う」ということになる。

セニョリーナPは十四才というものの発育がよく肩から胸の

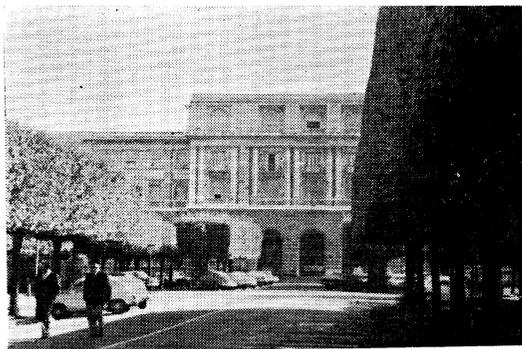
線がもうすつかり女性である。

「一寸おまち下さい。先生はジンザノおすぎですか。あのあまい……」と云つて走り去った。

つぶらな目の真剣な視線が異国人を一生懸命もてなそうという好意にあふれている。

長らく英国に住んだという外交官夫人が英語で話しかけてくる。

「日本語も少々知ってるけど——サクラ、ワタシのムスコ——これコレクト？」



「ジュースト||正しい」等と英語、イタリア語、日本語とチャンポンにして話しているうちにまわりに二人、三人と人が集って来る。

オリンピックは大成功だった。日本のトンジスターラジオ、カメラは素晴らしい始つて原子爆弾、ベトナム戦争に迄話が及ぶ。こ

フォラニーニ

(気胸術創始者)  
研究所の正面

の人々も例に洩れず議論好きである。矢つき早やに話しかけては話題を探しあてて二人、三人とグループをつくって語り合ひ、忽ち思考が停止してしまふ程頭が疲れてしまふ。

「ベルメッソ(ごめんなきい)」といってコップをもったP嬢が近づいて来る。肉が笹の葉の様にうすい豪華なコップに六分目に入ったザクロ色の液体がのどを通って夢心地になる。いつ合図があったのかわからないが人々がテーブルにつき始める。大毎日独特のトルテッリーニ料理に始まるフルコースを次々とボーイが運んで来る。甚だしい空腹に長い伝統のある食餌が吸い込まれて言葉も身振りもなめらかになって行く。そろそろ〇時に近い。盛んにみな時計を気にする。〇時。ボンシユエというスプマンティ(シャンペン)を抜く音が白い煙を伴ってT氏夫妻のまわりで鳴る。

「アウグリー・ボンナンノ(新年おめでとこ)」が口口に唱えられ、尚もシャンペンが抜かれて超現実的雰囲気は充滿する。カチカチとグラスが合わされしきり「アウグリー」が続く。

「今でも一部の人々は窓からコップを放つて古い年から新しい年への移りを記念する」と、傍のP嬢が説明する。

「私達もそうするのですか」と、私が窓を見廻わして放るジュエスターをすると、隣の紳士が笑い乍ら

「先生、われわれはちがう、それにそれをするにはこのコップはあまり高価すぎるようだ」という。

突然ライトが消える。消したのだと分つていても予期しない態勢の小生にとってはスリリングな状態である。案の定爆発音

に飛び上る程驚ろかされる。閉めきつた室内に反響して火花が気狂いじみた音をたて、燃えついदैいく。最後の火花が白い壁にかげを落として消えて行くと拍手がいつ迄も続く。人々はすっかり興奮している。

「ビバ・イタリヤ(イタリヤ万才)」

私もこう叫ばずにはいられない程感激していた。

「グラツェ(有難う)」

「ニッポン・バンザイ」と、声ははねかえってくる。

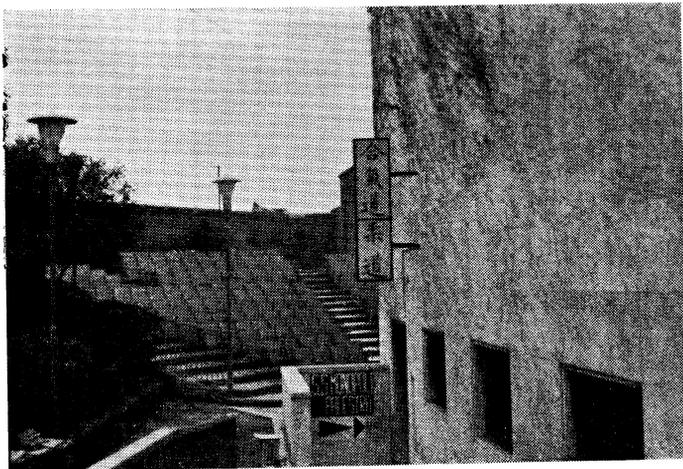
ステレオ・ダンスミュージックが夕騒のように響いてこの興奮を運び去る。若いカップルが踊りはじめる。ハイテンの娘さん二人はジルバ音楽に器用に合わせて踊れるパートナーがいないのはがゆがる。私はローマ大学生の二人をつかまえて話をす。一人は柔道をやっているという。小生、多少の心得があるというと床に正坐して「オネガイシマス」と座礼する。放課後まちの柔道教室に通っているということだ。

T教授が小生宛に二冊の自著を贈呈して呉れる。扉に『親愛なる鷲谷博士に心からの祝福をもっておくる。一九六五、一月一日。トランクウィーリ・リアリー』とある。一冊はラスク教授と共著になる緩療法、他は脊髄の解剖に関する本である。

二時をまわったところでもう「大丈夫でしょう」と云い云いして人々は家路につく。小生は同方角の夫婦連れにさそわれて車の助手席に坐る。運転席の辨護士とバックシートの美しい婦人が常に話題を小生に向けてそらさない。車が下町に向うにつれて道の歩道よりには硝子のかけらが雪道にかきよせられた雪の巻のように続く。云うまでもなくアパートの窓々から放り出された旧年の食器である。

「下町では今もこんな野ばんな風習が残っているのだ。一時前後は危険至極です」と、二人は説明して呉れる。もう大丈夫といつて人々がT邸を退去したことを思い出す。

大晦日という大きな峠を越した気分は軽い。  
ふと今年は何年かな、己年だなと思ってみる。



ローマ市の  
トラスベレ通り

三時に  
ベットに  
入る。誠  
に数奇な  
一夜とい  
うべきだ  
ろう。  
別れぎわ  
に片目を  
つぶつて  
愛敬をふ  
りまいた  
P嬢が漸  
くあざや  
かな映像  
となつて  
しばらく  
網膜に残  
る。  
明けて一  
九六五年  
晴天だ。  
この年も  
半年程ロ  
ーマで暮  
すことに  
なるが、

広範囲な治療に適応する  
三種の蛋白同化ホルモン剤

週1回の筋注で強力な効果!

**デュラボリン** 1amp. / week

効力が3週間持続する!!

**デカデュラボリン** 1amp. / 3weeks

経口投与には!!

**オルガボリン** tab., sol. / day



日本オルガノン株式会社

三共株式会社



## イタリヤ

## 四方山話

野口朝生

一般に日本では、イタリヤは南ヨーロッパにあるから温かい所だと信じているようである。しかし地図を拡げてじっくりと対比していただきたい。勿論地中海に面していて、その中に突出しているのがイタリヤ半島であるから、地理的に南ヨーロッパに属していて、他の北ヨーロッパ諸国にくらべて気候が温暖であるのはちがいない。しかし北緯三七度から四六度ぐらいの間に細長くのびている。これが曲者である。日本にあてはめて考えてみると、関東地方から東北地方、北海道の北端、宗谷海峡をこえて昔のカラフト、現在のサハリンの南端に迄及んでいることになる。又アルプスの山々にへだてられているとは云え、ヨーロッパ大陸と北は地続きであるかと思えば、南はシチリアからわずかのへだたりでアフリカ大陸と接している。従って気候に関してイタリヤ一般と云う定式的な概念は全く作り得ないのである。大ざっぱに云えば北部イタリヤは大陸性気候、中部イタリヤは地中海性海洋気候、南部イタリヤは亜熱帯性気候である。従ってその差は気候において、日本における北海道

と鹿児島との差よりも甚だしい。もし歌劇ミニオンの中で歌われる有名な君よ知るや南の国などで夢想をいだかせられて、イタリヤは温暖な気候の国、太陽の国と信じこみ、例えば北部イタリヤ最大の都市、ミラノで冬をすごされたらあまりのことにがっかりとされるのは聞かぬ。ヨーロッパ第一の近代的城市でヨーロッパのニューヨークと云われるミラノの冬は、まさに日本では札幌、旭川の寒さで、零下十八度なんていう寒さが毎日のように続き、ロンドンの霧以上と云われる息苦しい程の霧のあけくれであるから、太陽の国だなんて一体誰が云ったのかと呪いたくなる程である。その反面、南端の長靴の先端にあたるカラブリアや、その先の石ころのようなシチリア島では、一般日本人の通念から云えば暑い所で、雪もなく、雨も少く、十二月、一月、二月をのぞいて年中海水浴の出来る所である。これとても同僚のシチリア出身の医者にいわせると、スカンデナビア半島からの旅行者たちは、真冬の一月でも嬉々として泳いで行くと云うから、日本の四月頃の陽気と思つてよいと思つ。北ヨーロッパの連中の太陽に対するあこがれは本当にすごい。ミラノでまだ我々がセーターを着ているのに、隣りに住んでいるロンドンから来たイギリス人の女医はすっぱだかで日光浴をしているのを何回となくいやだなしたに?? 見せつけられたし、夏に盆地特有のフェーン現象のひどいむし暑いさなかに半月ぶつ通しの当直でふうふう云っていたら、先生、暑がるなんてもつたないわ、素晴らしい太陽ぢやないの、とやられて唾然としてしまった程であるから、北ヨーロッパの人々にとっては確か

に太陽の国、夢に見る温暖の地であろう。結核に対する太陽療法を考へ出したのが太陽に常にあこがれている北国の者であることも、むべなるかなである。確かに春から夏、秋の始め迄の素晴しく晴れ渡った日本では絶対に見られないすみきった。青い空の明るさは太陽の国と呼ぶにふさわしいが、しかし日本人にとって、北部及び中部イタリヤの冬のきびしさは、それを裏切るのに十分である。イタリヤの気候はしかし、次のようにまとめることが出来る。雨期と乾期が判然としていて、雨は五月末頃一寸まとまって降る以外、大部分十月中旬から十一月中旬にかけて降る。冬には北部イタリヤに雪が多い。しかし他の時期にはせいぜい一ヶ月三回乃至五回位雨が降れば多い方で、しかも日本の霧雨程度、しのつくようなと形容される日本的な雨の降り方であったのは、在伊約三年中たったの三回である。したがって湿度が非常に低く、からつとしてゐる。又台風の如きものはなく、逆に夏にアフリカ大陸からシロココと云う熱風が入りこむことがある位である。地震も少なく、滞伊中、自分の身体に感ずる程度のもは四回しかなかった。もつとも家の構造がちがうからかもしれない。湿度の低いのは本当にありがたくしのぎ易い。イタリヤでは最高に湿度が高いミラノの夏ですら日本のようなむし暑さは一夏中で一週間位しかない。だから日本でサングラスなしでいられる僕の細い目ですらかけずにはたまらなく感ずる。強烈な光線にじりじり照りつけられていても影の部分に入ればさつと涼しくなり、みるみる汗が引いて行く同僚たちと、外来診察の中休みの際エスプレッソと云われるイ

タリア独特の入れ方をしたコーヒーを飲みながら雑談をしながら、日本の夏のむし暑いのはすごいぞ、湿度八十パーセントと云うのが毎日続くんだと話したら、信じられない程だ、それぢや空気の中は殆んど水ぢやないかと云われたが、帰国して實際一番参つたのがこの湿度である。特別病棟や手術場の中でさえ六十パーセントに調節してある位だからたまらなかつた。娘など出発する時一才半だつたから、日本の夏の記憶はなかつたので、帰って来たら暑い、暑い、身体中がべとべとしようとして置いて本当にこまつたし、イタリヤにゐる間中、放置しておいても絶対さびなかつた鉄器類が僅か一週間できびが出て来たのにも又おどろいた。茶道の詫び、寂びなら日本特有の精神的心境で世界に誇るものゝ一つであるが、この錆はあまり有難くない。反面、イタリヤには日本のような判然とした四季が無い。卒直に云えば、まるで夏と冬しかないにひとしい。正確に云えば冬から夏、夏から冬にかけて一ヶ月たらずの春と秋とはさまっているだけである。勿論南と北ではずい分差があるが、例を中部イタリヤのフロレンス、イタリヤ語でフィレンツェをとって以下イタリヤの一年を簡単に描写してみる。

年頭から三月中旬迄は厳冬である。朝の日の出はおそく、毎朝五時におきて、七時加刀の手術を終えて次の手術に移ろうとする頃東の空が白み始め、第二の手術が終る九時半頃やつと東の山の上に太陽が出る。一時に一旦家に帰り、四時に病院に出る頃はもう暗くなり始め、一通りその日入院した患者の診察、レ線写真撮影がすむ頃にはもう日は完全に沈んでいる。太陽が

出ているのは七時間位であろうか。夜八時から毎日カンファレンスやら研究会等があるので帰宅はいつも十時すぎであるから往復とも暗闇の中を歩いている。しかし毎日少しづつ、日の出が早くなり、日の入りがおそいのを敏感に肌にくれて行く。水の如く感じていた手足の冷たさも、三月二十日をすぎると少しづつ暖かさをとりもどして来、復活祭の近づく足音をはっきり聞きとれるようになる。それが四月上旬から中旬にかけて、まだ肌寒いの周囲の丘に一せいに梅、あんず、桃、桜、アーモンド等の花が咲く。その美しさは全く言語に絶する。正に春が来たのである。春が復活したのである。下旬に入るとすぐ追っかけてつづちの大群も花開く。山々は花霞みなんていう生やさしいものではない。まるで火が燃えているようである。フローレンスの創立されたのは、ローマ時代、アウグストゥス帝が紀元前八十年頃、当時エトルリア文明の中心地であったフィエーソレと云うフィレンツェのすぐ北の小高い山の上にあった町を攻撃に来た時、アルノ川の花の一派咲く谷を見つけて此処を花咲く谷間と名づけ、町を築いたのがそれであると云われているが、正に美しい花咲く谷間なのである。ラテン語で FLORENCIA と呼ばれ、これから英語の FLORENCE、独語の FLORENZ が出たが、このラテン語は次のローマ語では FLORENZE → FLORENZE と転化し、遂に現在のイタリア語の FIRENZE となったのである。御存知の如く、フローレンスはしばしば日本の京都にたとえられる（現在姉妹都市でもある）ルネッサンスの発祥の地で、かつ又生きた美術、文化の中心地であるが、例

えばサンミニアート寺院の丘や、フィエーソレの山に登って見ると、フローレンスの春の美しさは全くたとえようもない。花の聖母寺と呼ばれる大寺院の赤、緑、白等の大理石の外壁が刻々と変る光線に映えて輝く美しさは筆舌につくし難い。僕は完全に魅せられてしまった。イタリアと云う言葉を聞くと、それに関連して思いだすのは、あの色彩の靈妙とさえない美しさと、それを飽きることなく、むさばる様にながめていた僕自身の姿だ。長く、暗く、又つらかった冬のあとと光景だった。けにこのように焼きついてしまったのであろうが、それにしても今でもあの色彩の完全な調和美に惚れており、文才の無いため、上手に表現出来ないのが甚だ残念である。さて、この春も一ヶ月たらずの五月にはもう終って夏である。既にその強烈な日射しは日本の真夏のそれ、いやそれ以上である。サングラス無しでは目をやられてしまう。従って定年をすぎ、余生を楽しんでる夫婦たちなどは六月の声を聞くと、あるいは海岸の、あるいは湖の、あるいは山の別荘に行ってしまう。学校も六月下旬には休みになるので、七月に入れば女、子供は皆避暑、あるいは林間学校に行き、にわか男やもめが増えてくる。そしてこの夏は八月十五日前後のフェウラゴストと呼ばれる時期に至って最高調に達する。直訳すればアウグストゥスの休暇で、その名の通りにローマ時代初期（人によってはそれ以前からあった習慣だと云うが）からの長い歴史をもったお祭り休暇であるこの時期に町に残っているのは極端に云えば旅行中の外国人と乞食と野良猫だけで、泥棒すら避暑に行くかと俗に云われる位で

殆んど全イタリア人が思い思いの場所に休暇をとって遊びに行く。ちなみに云うが、どんな貧しい人達でも、この前後に最低三週間、普通一ヶ月の休暇をとりくつる習慣がある。八百屋、魚屋、肉屋等自家営業の人も交代で少なくとも二週間は休み、八月十五日中心の三日間は全店閉鎖する。医者も七、八、九の三ヶ月中に二週間宛二回交代で休みをとり、この三日間は当直だけ残る。この時は一番若いクラスが貧乏くちを引くのは日本の年末、年始のそれと似ている。此の時期にフローレンス五十万の町で食事が出るのは駅の食堂だったのだけ所だけである。八月十五日には汽車も、電車も、バスも極端な間引き運転で、タクシーはまずない。もし幸運に見つかったとしても、ものすごくぼられることを覚悟しなければならぬ。そんな時タクシーを使うのは間抜けな外国人だけだからだ。ホテルのサービスも人がいないから当然最低だ。全く想像以上に徹底的である。と云うのは忙がしいのは交通警察と交通災害病院だけである。と云うのは此の時期に全イタリア人が自動車で（と云っても決して過言ではないと思う程だ。僕の住んでいたアパートの門番のばあさんですら、小さい車で通勤していた）移動するので交通事故が激増するからで、八月十五日前後の三日間で、八月全部の交通事故の九十パーセントおこると統計が示している程であるから、この時期にイタリアを自動車で旅行するのは自殺行為である。これに似た時期は五月一日メーデーの日で、これも都会、交通の機能は完全にストップする。こゝで一寸注意しておくが、交通事故と云っても殆んど自動車対自動車、或いは自動車対物で

自動車対人は非常に少い。僕がイタリアで見た約三千五百人近い交通事故患者の中で（勿論直接僕の患者だったもの、他に、他の病棟のをも加算しての話だが）自動車対人と云うのは三十例に満たない。僕自身には三人の経験があるだけだ。日本はその点異常だと国際連合の統計が示している。それはさておき、こうして徹底的に休むことはイタリア人にとってはしごく当然のこなとのだが、初めての人はまずびっくりする事受あいである。これはひとえに労働に対する概念が根本的にちがうことによるが、こゝでは難かしいことは抜きにして、とにかく官吏を除いて（此の点は世界中似たりよったりであるが）一般に良く働き、かつ良へ遊ぶと云うだけにとどめる。良く働くこととこの一例を僕の経験から一つ御話ししよう。フローレンスにいる時妻が病気で働けなかった時のことである。幼い娘もいることだし、こまりはてゝ知人の奥さんに相談したら、丁度良くその家のお手伝さんの従妹が空いていると云うので来てもらうことにした。一応その奥さんにどれ位賃金を支払うのかと聞いたらとても安いので、これで役に立つかなあとあやぶんだが、とにかくこままっているので来てもらうことにした。さて約束の日あらわれたのは身長は僕と同じ位だが九十キロはたしかにあると思われる三十五才ぐらいの女で、腕なんか僕の太腿位あるしろもの、念のいっただことに口ひげがふさふさしている。とにかく最初に賃金の相談をし、週二回来てもらうと云う約束をした。仕事の内容は妻が説明し、了承した。さてそれからがすごい。その巨体でいとも軽々と立ち働き、まるでこまねずみのように

しかも妻と僕とが二人してやっと持ち上げるような重く、かつ大きい家主であったロシア貴族出身の奥さん自慢の十八世紀に製造されたソファを軽々と一人ではこび、大理石の床をごしごしとみがき出した。大理石の床と云つたつてイタリヤではごく当り前で、その他の床なんてナポリ以南に行かなければ、どんな貧しいアパートだって普通のことだ。僕も一度ずつとあとになつて試みに大理石の床をみがいて見たが、実に男の僕にとつても重労働で辛いことだった。それを彼女はいつも楽々とやつてのけ、その後もすごい働きぶりだった。日本の女の人の人だったら、ソファを持ちあげることはおろか、大理石の床の一部屋半分もみがけまい。まず日本のお手伝いさん五人分に相当するだろうこんなに働いてくれて僕はとても喜んだ。そうしたら数回後、やめさせてくれと云いだした。理由を聞いたら、こんなに仕事の少ない家では私はつとまらないし、給料をもらう訳にはいかないと云う。全くその通りだと思つたので、やめてもらつたが、働くことには体力の差があるからいたし方がないと思うが、彼女の職業意識の高さには今でもつくづく感心している。さて話が半分横道にそれてしまつたが、このフェラゴストが終ると九月にはもう秋風が吹く。そして十月中旬からの雨期に入れば寒さはひとしお増して来て、十一月に入れば正に氷雨である。十一月一日は万聖節、翌二日は死者の日とお墓参りをする頃には、灰色の空、しとしと降る雨と潤葉樹の葉の落ちる様子に冬の始まつたしが見られる。こうして又寒い冬が来年の春迄で続くのである。これが中部イタリヤのフロレンスの四季であ

るが、南北ではこれと一ヶ月づゝの差があると思えばよい。日本でも鹿児島と北海道の氣候を同列に論じられないのと同様であるが、この氣候が、自然の風物や人間にどんな差をもたらしたか、次回に述べるとして今回はこれで終えることにする。



健保適用

1錠当り 33円90

手術後・外傷後に  
各種炎症性疾患に  
炎症・腫脹を適確に抑制する

非ステロイド性消炎剤

**タンデリール®**

タンデリールは手術後・外傷後の炎症・腫脹を速やかに消退させ、治療期間を著しく短縮させます。また、各科領域における各種の炎症性疾患にも優れた消炎解熱効果をもたらします。その効果は往々ステロイドホルモン剤に匹敵し、しかもステロイドホルモンのもつ副作用を全く示さないので安心して使用できます。

錠剤(100mg) 30T 100T 500T

文献送呈



大阪市東区道修町4丁目3  
(東京・名古屋・福岡・札幌)

藤沢薬品



# 炎症を抑え

腫脹・疼痛・発熱を去る

消炎酵素剤

# キモプシン

$\alpha$ -Chymotrypsin製剤

酵素でありながら、注射あるいは口腔内投与などの全身投与によって、炎症々状を抑えるのがキモプシンの特長である。腫れをひき、痛みと熱をとり、粘稠な膿液をとかし、サラサラにして排出しやすくするので、上の図に示すように、各科の領域での炎症性疾患にひろく用いられる。特殊な適応として胃癌の細胞診もある

包装 注 5・50バイアル    パッカル 12・120パッカル錠  
カプセル 30カプセル    腸溶液 120錠  
健保 1バイアル 424.00円    ・ 1パッカル 84.80円

東京都文京区小石川4丁目 エーザイ株式会社 大阪・札幌・名古屋・福岡

# 欧米

## 飛びあるき余話

木城卓二

三十八年六月二〇日、第九回身体障害者世界会議の出席と欧米の肢体不自由児施設見学の為、羽田を出発した。一行の内には平の大河内園長、長野の井上園長が居られて誠に心強かった会議の内容、施設の話は御二人に聞いて戴くとして、私は専ら第二部を書いてみます。私も大いに勉強したのですが、それは奥床しくもふせて置きます。

十七時間でアムステルダム到着、生憎と冷い雨まじりの強い風が吹きどんよりとした空模様だが、落着いた煉瓦の町並、無数の運河とそれをふちどる楡の大木、中世風の石橋等を見るとヨーロッパ第一歩の為か正に北欧に來たと云ふ強烈な印象を受けた。直ちに小児病院と養護学校を見学の後、東京駅そっくりのアムステルダム駅前のホテルに入った。

夕食後同行の人々は何処へ行ったのかホテルに殆んど残って居ない。井上先生とメインストリートを歩く。そして横道へ。立派な服装の五十年配の男、何やら云ひながら寄って来て胸に

三色旗をさして呉れる。行き過ぎたら井上先生に呼びとめられた。何のことが聞いて呉れと云ふ。よく聞くと青少年体育の為に寄附をと云ふ。井上先生真面目に百円程与へる。小生乞食と思つて与へず。後で大変うらまれた。

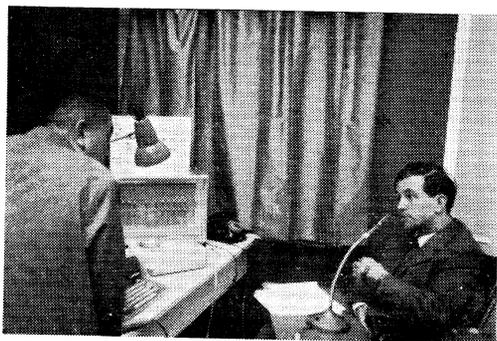
一行の人々は映画で有名な。飾り窓を見学？に行つた由翌日わかる。旅のパンフレットには書いてないので知らなかつた我々のうかつさ、生真面目さが口惜しいが早オランダの夜は過ぎない。

コペンハーゲンにはヌードの本が沢山あるからと内科の片桐君に云はれてたので行つてみた。成程すごいのがある。併し之をトランクに入れて日本に帰つた時の事を考へると一寸手が出ない。立ち見だけにする。隣の映画館に入ろうとしたら題名がすごい。「コペンハーゲンの或る私娼の生活」——ティーンエイジャーズが堂々と手をくんで入つて行くが之も一寸でれくさい。私生児にも分晩、養育手当が出る御国柄、少々目をみはる風景が多過ぎる。

翌日市長招待のレセプションに出席、盛大な飲み食い。オーストラリア人に話しかけられブロークンで何とかがまかしてたら某先生割り込んで来て手ぶりよろしくいわく。

Are you Australian ? Kangaroo Pyon Pyon ?  
——御わかりですか？

一日会議をさぼつて六名程で御城見物に出かける。ガイドが説明の途中一人／＼コーヒーか紅茶が聞きに来る。ドライブインに入るとケーキとコーヒーが出る。サービスと思つて又パス



コペハーゲン機械展示場にて  
SPかん者と話をする小生

あらばの感。

装具展示場へ行く。加藤、山根両先生にたのまれたのでホコモリー装具の写真を撮り、パンフレットを集める。ドイツ、イギリスのものに古いものが多い。英国製の口だけで操作するタイプ、レコーダー等は本ではみたが実物は始めてで驚嘆する。所が之を操作するのが上下肢麻痺のクランケでこの男と色々話をする。途中で彼突然涙を浮べて日本の歌を唱って呉れと云ふ。何やら小生もグッと来て声が出なくなってしまう。ストックホルムの地下鉄でこゝからストックホルム中央駅に

に乗る。所がパスガイドいわく「お金を払はない人が居りますバス代には含まれて居ません。

私が困ります」何と私はなかったのは日本人だけ。所が更に悪いことには小生の分だけは前の座席の外人が払って呉れたからと云ふ。正に穴

行けるかと聞いたら行けると云ふ。切符を買いホームに出る長々と歩く。出口は中央駅、何のことはない切符を買ってホームを歩いただけ。小生の英語が悪かったのではなく、駅員が英語を知らなかったことにきめた。それにしても口惜しく駅の食堂でやけビールを飲み今度は地上を歩いて帰った。

ドイツのバードグーデスベルグのホテルに外科の坂口先生がはる／＼百軒の道をとぼして来て呉れ、国立賭博場へ案内して呉れる。小生博才なくスッテンテン。所が彼大いにかせいで外国での金は貴いからとめぐんで呉れた。ガールハントに自動車が如何に大切であるか、日本人が、特に某有名人がハンブルグの女性の値をつりあげた話等を教へて呉れた。

ロンドンのピカデリーサーカスは丁度銀座と浅草を一語にした様な所、井上先生とヌードショーをのぞく。二〇名位小さな部屋におし込められて電気が消へると幕が開く。ぶくぶくした女が微動だにせず寝るだけ。アッペの大きな創跡が目につくエロなんでもんではない。それでも最前列の頭のはげた男、眼鏡をふき直してのぞき込んで居たのは傑作。

井上先生によせと云はれたのに入ったバーではばられた。何やら甘ったるい飲み物。ビールと云ったのにこれはシャンディーではないかとなじったら、よく知ってますねと来た、自分は赤いジュースらしきものをピンクレディーだと称して二杯のみいくらくと云ふ。日本の暴力バーと全く同じ。そして大きな

男がだまって外から見て居る。高過ぎる、いや高くない——すったもんだの末、東京で生れ直せ、と通じたか通じないか棄てぜりふをのこして逃げる。恐しかったこと。

パリの夜は素晴らしい。モンマルトルの丘の酒場で世界各国の人がフランスの民謡と一緒に歌ふ。ブドー酒を飲み又歌ふ。バスでのパリ一巡もよかつた。セックスアビール、リド等一流の所を四ヶ所まわつて四千円位、アバッシュダンスの所で先づ女がいきなりアメリカの男の額にキスしてルージュのマークを大きくつけた。さくらではない。井上先生と小生最前列なのでひや／＼してたら遂に來た。大男に女がなぐられ、髪をむしられるダンス。その女が悲鳴をあげて小生の腰にだきついた途端男は女の足をひっぱり、小生も椅子ごと舞台の中央にひっぱり出されて、スポットが当てられる——後は御想像を。

ニューヨークとワシントンでは井上先生の妹さん御夫妻の御世話になる。ボルチモアに一泊する話をしたら、あそこは面白い所があると云ふがくわしくは教へて呉れない。義理の兄だからだろうが。致し方なくボーイに聞いたが要領を得ない。町をぶらつき男の呼び声で入った所はヌードショーをやるバー。

ビール一杯でかぶりつきで見られるのだから安いが、女も御粗末。隣の英語の先生、金持とみられたか黒髪の女にまつわりつかれる。私はユーラシアンなの誇らしげに云ふ彼女は我々を東南アジアの同胞とみたのだろうか。白人との混血を誇る彼女

に複雑なものと感ずる。

団体旅行も制約が多過ぎてやり切れなくなつて來た。ロスで電報を打ち、ハワイで一行より一日遅く帰国することにした。井上先生をさそつたが、彼承知せず、神奈川の浜田園長としめし合せて一行を送り、別のホテルに入る。夜パンアメリカンの人が日本人バーに案内して呉れる。英語の出来ない日本人ホステスが何人も居る。日本で米兵と結婚し、ハワイで棄てられた人々とか、わびしい話である。そのマダムに新入りの日本婦人のテストを依頼される。あの女、どう思います。やとつても大丈夫かしら？——いやはや、ハワイでホステスの口入れテストとは我ながらがっかり。明日は日本だ。それも僅か六時間——それにしてもこの女達には飛ぶ方法もない。



His master's disc

# 欧州

## 旅日記より

岡田 衛生



フランクフルト・国民酒場にて

(左より二人目)

六月十七日 晴  
KURFÜRSTENDAMM通りのPLAZAホテルより二〇班のトラン  
クを抱えて、思出の西ベルリンを離れる時が来た。

思えば、フランクフルトでの古びた国民酒場で緑のマロニエの樹下でApple WINE・乾金、数々の歴史を秘めたるライン川の下り、デュッセルドルフの準急列車内でのカトリック尼僧との対談、東ベルリン市内を一巡してみた戦災による独逸の廢墟の生々しさ等々、印象はつきない。

今日は私にとって単独旅行の日程の最大難関の日である。

何故ならば!! 初渡航の私が各航空会社のジェット機の乗りつきで無事定刻にストックホルムの目的のホテルに辿りつけるかが心配だからだ!!

一三時三〇分 ヒットラーの遺したという広大なテンペルホッフ空港の九番ゲートよりパンアメリカン六〇九号は、綿をちぎった様な雲の散在する青空に、広々としたドイツ平野を見下しつゝ上昇していった。

早速ドイツビヤールと機内食を摂るうちに、約一時間で天候は俄に変わり、小雨まじりの強風が二重ガラスの窓に打ちつける。かくて坐席ベルトをしめるうちに、機はハンブルグ空港に滑走す。乗客一同小雨の中を駆け足でゲートに入る。

アナウンス嬢は気象条件不良につき約四〇分遅れるとのこと狭い空港のロビーの事として、所在なく、フリータックスのバーの止り木に坐して、スコッチをなめながら、まだか〜といらだたしげに時の流れるを待つ。

日常会話も初年兵の事とて、口数もつい少くなり、あっちでちながめても気軽に話しかけられる心境には未だ遠い!!

十六時、雨がやみ、霞の中をルフトハンザ二〇〇号に乗りこ

む。スチュアードスは目のくりくりした愛嬌のある小柄の独逸娘だ!! 乗客はブロンド髪の男女約三〇名で、上昇するとすぐ新聞と軽食がはこばれる。

早や天候は恢復して銀翼に日が射し、雲海のきれめり青いバルト海をのぞみつゝ、デンマーク、コペンハーゲン空港に到着す。

一〇〇米近くもある長いゲートの廊下を歩く、通過者である私の入国手続はすごく簡単で、これだよいかと係員に念をおす位だ!!

階段を下り次便のSAS航空の予約を確認す。外に出る時間もない故、出国手続をして広いブータックスのロビーの中をうろつくこととする。デンマーク特有の民芸品、チーズ、ネクタイ、酒、煙草等々一つ／＼店をながめてはデンマーク貨(クロネ)、ドル貨、円貨との換算を頭の弱い私がしている姿は御想像出来るでしょう。帰途再びこの空港に戻って来る事として、買物はせず土産品の品さだめをしてるうちに出発時刻の十八時二〇分となる。

キーンという金属音が空港に交錯し、出入の他の便があわたしい。

十八番ゲートにはSAS航空の大型ジェット機(百五十人乗)が待期しているが、搭乗人員は僅かに二〇名位で、さすがにスエーデン、ノルウェー行の客は観光シーズンに早いせいにか少く広い機内は寒々として、これから北の果てにつれてゆかれるのがいささか不安である。

五五二号は長い滑走のあと、ふあっと青空に上昇して目ざすストックホルムへ!!

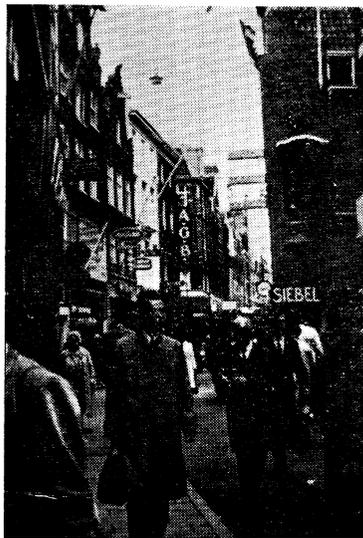
ピンクとブルーに彩られ機内でのスチュアードスのサービスにもはや不安感もうすらさき、一時間で眼下にはいよ／＼スカンディナビナの美しい大小の碧い湖、緑の森に赤色の屋根が点在し、

高度は漸次下降しつゝある。

かくして東径十五度、北緯六〇度のアーランダ空港に十九時三〇分到着す。

太陽はまだ沈まず、空港周辺は明るく空は碧い。時間の観念を忘れさせる!!

入国手続を完了して、自分の荷物を手にするまでのもどかしさは、経験者ならではわかるまい!! ベルトコンベアーの最後



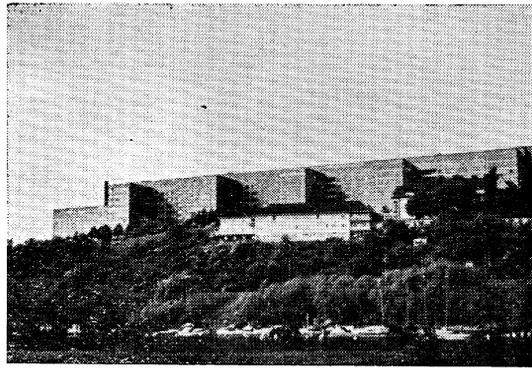
アムステルダム  
シヨツピングセンターにて

に赤十字の標識をつけた私のトランクが出てくるまでは、THROUGH TICKETにしたものの冷汗が出てくる始末だ。

空港バンクでトラベラルチェック三〇ドル分を両替するに一五四クローネ、三五サンチームとの伝票を受取る。

また／＼価値単位が違って、リラ、スイスフラン、仏フランマルク、デンマーククローネ……と六回目の頭の切りかえを必要とする。

エアターミナル行のバスに乗ること二〇分でストックホルムの中心街に入りハイヤーに乗りかえ、五クローネとられて、めざすホテルに辿りつく。



スカンチャピナ諸国最大の病院  
(ストックホルム) サザンキスピタル  
(数千床といはれてる)

いよ／＼待望のステーションでの数日が始まるのだ!! 地球の裏側より故郷をしのび、明日のスケジュールを頭に画きつゝ、白夜の第一夜をベットにすこす。

★☆☆☆

註  
日赤病院管理職(副院長)の立場で、足利日赤斎藤副院長とジュネーヴ国際赤十字社をはじめ各国赤十字社訪問、国際病院学会(IHF)(於ストックホルム)参加の目的で六月五日香港経由で羽田を出発した。

# 筋肉の緊張と痙攣に

骨格筋痙攣弛緩剤

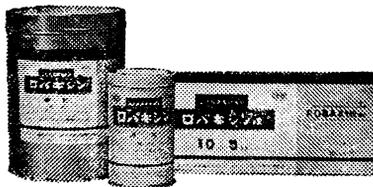
## ロバキシン®

(メトカルバモール製剤)



武田販売

健  
保  
採  
用



〔適応症〕

腰痛、胸背痛、肩こり、関節痛、筋肉痛、四十肩、五十肩、変形性脊椎症、椎間板ヘルニア、顔面筋痙攣、四肢痛、神経痛、リウマチ、挫傷、捻挫、打撲などの筋肉の痙攣強直をともなう諸症

注射：1管 5ml中 500mg を含有 10管 (健保薬価 1管 95円)  
〔包装〕 顆粒：90%を含有する白色の顆粒 100g 500g ( " 1g 37.1円)  
錠剤：1錠中 250mg を含有 300錠 1000錠 2000錠 ( " 1錠11.3円)

製造 グレラン製薬株式会社 販売 武田薬品工業株式会社  
東京都世田谷区野沢町2丁目147番地 大阪市東区道修町2丁目27番地

R-3



日三々四名が交代で国立競技場のみ救護へ出た。たまたま医局にいたためにチャンスに恵まれ救護の合間にオリンピックをかい間見ることが出来た事は幸運であった。当分の間二度と日本で開かれることのないオリンピックの雰囲気やメインスタジアムで味わうことが出来た事は競技場へ救護のため出掛けた医局員にとって良い記念となったことであろう。

一廻りした後、選手・役員用の第一救護所に居ると早速連日の準備に追われて疲れた役員が風邪をひいたと云ってやって来て我々の第一号患者となった。英国のチームドクターがやって来てキングズイングリッシュでいんぎんに挨拶をしながらもこんな薬品はあるか、あんなのはどうかと穿鑿してその中にちらりと大国的尊大さを示しながら帰って行った。

正午になって開門され続々と観客が入って来た。私は看護婦一人・事務員一人をつれて絵画館前広場の選手団集合所へ急いだ。そこは選手団以外は僅かの役員を除いて完全にオフ・リミットであつて、入場を待つ間の選手達は自由なポーズをとつて休んでおり選手達の自然の姿が見られて面白かつたが、中には救護班の机にまで腰を掛ける様な無礼なアメリカ選手もいて、この様な態度を見せられた直後ではきれいに隊伍を組んだ入場行進も手放しで素直には見ておれなかつた。とは云うものの最後の日本選手団を送り出した後、近道して競技場へ戻つた所で丁度迎えた日本選手団の入場行進には思わず感激した。岩原教授も入場門の近くで他の救護班員と一緒に嬉しそうに立つて見ておられた。オリンピックの幕は切つて落されたのである。

経済的にもまだ時期尚早である、オリンピックより他にもつとやるべき事がある等の意見が初期にはあつてどこまで立派にやれるか危ぶまれたオリンピックであつたが立派な開会式に誰しも感激した事であろう。

救護を通じて得た感想を他の医局員の感想も混じえて二、三述べてみたい。まず最初に言葉の問題から始めるとしよう。世界各国から集まつて来ているので英語が意外に役立たなかつたユーゴの選手は独語なら少しわかると云うので医学用語の羅列でどうにか切り抜けたが蒙古の選手の時には全くお手上げであつた。言葉は全然通じないのに顔は中国人などより日本人に良く似ていた。外国人観客について加藤君は面白い感想を述べているのかそれに触れる人は居なかつたが外国人観客が治療を受けるに殆どが「幾ら払うのでしょうか」とか「お金を払わなければならぬのでしょうか」と云つて尋ねた。日本には医はサーヴィスと云う觀念が植えつけられているのか医療制度について考えさせられたとの由であつた。アメリカの様には救急車と云えども有料である国と日本とは考へ方に相当の差があるのも当然かも知れぬ。その当時、地下鉄の階段でころんだと云う事で一人のアメリカ人の老女が救急車で整形外科外来に運ばれて来たことがあつた。最初は自分は大丈夫だからホテルへつれて行つてくれと云つたのに病院へつれてこられたとか大丈夫だから診察してもらわなくて良いとか云つていたのに何処も異常なきさうだから帰つて良いと云い、救急車は無料、診察も充分してないからこれも無料と云うと今迄ぶつぶつ云つていたのが日本の制度は立派だとか皆親切だとかホテルに遊びに来いとかオーバーなお世辞を云い云い帰つて行つたことを思い出す。その他の感想としては雨の中で小学生の団体が観覧していたが風邪引きで来る者が多く一寸考えさせられたと云う事や赤ちゃんのおムツを交換する場所がなく困つたとか場内整理員が横柄で官僚的で仲々覗き見させてくれなかつたと云う様な事が述べられていた。

# 神経痛様、疼痛・筋肉痛の 局注療法に

## ネオビタカイン<sup>注</sup>

有髄神経に全く無害で神経筋肉の機能的代謝障害を治し疼痛を速やかに除く新しい痛覚理論に基づく局所注射用製剤であります

**【特長】** 神経叢の局注療法としては塩酸プロカインとビタミンB<sup>1</sup>の局所注射が常識となっていますがネオビタカインは塩酸ジブカインの癥痕膨化及び選択的自律神経遮断作用に、ビタミンB<sup>1</sup>・パントテン酸は各種有害有機酸の蓄積を防止酸化を促進させ神経及び筋肉のコ・エンザイムAを賦活します。

ピリドキシンは神経の解離、アンモニヤの除去、アミノ酸代謝を円滑にし、神経の鎮静に役だつと共に局所の攣縮を緩和させる効果があります。ネオビタカインはこれ等の薬品を合理的に活かすように調剤したものであり局所的濃厚作用と相俟つて理論と實際を一致させた理想的な薬理作用を持つものであります。

**【組成】** 塩酸ジブカイン、塩酸ピリドキシリン、パントテン酸カルシウム、塩酸チアミン(ビタミンB<sub>1</sub>)、サルチン酸ナトリウム、臭化カルシウム

## VB<sub>12</sub> 大量療法に

**シノコB<sub>12</sub>**

シアノコバラミン注射液 (JP)  
1 mℓ 中 (1000μg)

### 特に蛋白同化ステロイドとの併用

- ◎ 慢性骨疾患及関節疾患に伴う疼痛、変形性関節症、老人性骨粗鬆症
- ◎ 術後の体力保持、創傷面治癒促進

製造 **ソルコパーゼル社** 販売 **ビタカイン製薬株式会社**  
(スイス) 大阪府守口市橋波西之町2-77

# 近況報告

## 奥村守彦

(昭和二十九年 日大 一四二)

御無沙汰ばかりで申しわけなく思っています

昨年四月専売公社東京病院より岡山の診療所長として赴任しました。診療所ですからいろいろ手がねばなりません、タバコ工場の関係上手の災害が多く勉強しています。備前岡山は風光明媚の地として知られています。

学会その他近辺にお出かけの節は遠慮なく御立寄り下さい。出来るかぎり御接待申し上げます。岩原教授はじめみな様に呉々もよろしくお伝え下さい。

「ふるさと」は毎号大菱丁寧な編輯で読んでいても気持ちよく、いつも楽しく拝見しています。

## 大谷考雄

(32回 一三五)

ながらくお世話になった医局と別れて

四十年二月より当地にてさくやかな開業を始めました。開業実務にうとい為何かともまだい、いつもどうやら日を送っております。

苦しみも喜びも、まだこれからと言うところ、もう少し経過をみてみないとわかりません。

住所 千葉県習志野市津田沼

二ノ一七三五

## 田辺雅久 (37回)

東京歯大市川病院で頑張っておりますが毎日多忙です。川崎からフェリーボートで東京湾を渡れば木更津まわりで三時間、中々いいところです。昨年長女「晶代」が誕生し、家族は母、妻、小生をいれて計四名、にぎやかにになりました。大谷清兄、細川兄のお嬢ちゃんはお二人共「晶子」ちゃんと聞きました。三人の同期生が揃って娘に「晶」という名前をつけたのは偶然とはいえ愉快です。余暇をみては弓引いております。

## 中村明訓 昭和医大

御蔭様で元気にやって居ります。

勤務先住所地名変更となりましたので御連絡致します。

新住所 川越 脇田本町二五〇一九

電話 川越 (〇四三) (2) 一一八一

## 谷田部 貞男 34回

新米医長として整形外科づくりに夢中になっているうちに、はや二年、整形外科新設の時はどこも同じだと思いますが、外科と如何にスムーズにやっていますか、又病院の職員や患者に整形外科を理解させることに苦労しましたが、最近はいよいよ軌道に乗り始め、患者も増加の一途をたどり病院も新築完成し仕事もやりよくなりました。一人ですので朝から晩迄走りまわらざるを得ず、本もじっくり読めないのが淋しいです。一人で診療に明け暮れていますと教室に教えを請けたいことがあります。多くは出来ませんが、病院をあげる面での御援助を切に御願ひ致します。

辻 啓 一 34回

七月一日より高岡市民病院↓富山県立高志学園へ転勤、相変わらず元気でやっています。

大 柳 裕

(新大專昭和三十年)

横須賀医師会員、役職なし、借家住、専問なんでも屋、患者一日五十名〜六十名、取扱い範圍、腰痛関節痛を主に小外傷、出物、腫れ物、風邪、腹下し使用者は看護助手一、パート一、金めの器具はポータブルレントゲン一台のみ、車Ⅱヒルマンスーパーデラックス六四年度及自転車、家族、妻、子Ⅱ男女各一名

佐 藤 昭 一 専3回

目玉を手術しまして約一年、今の所よく見えます。最近体重増加の傾向ありゴルフに精を出しておりますが、なか〜上達しません。昭和四十一年七月頃リハビリテーションの設備が完成しますので忙しくなります。

左 奈 田 幸 夫 13回

昭和三十九年二月、伊藤恭次郎前院長のあとをうけて国立埼玉病院に転任、丁度これも再建にとりかかっていたので、これと取り組んで生める悩みに微力をつくしています。漸く病棟二百床、サービス棟が今年完成、四十年度は残り二百床、看護婦宿舍、高等看護学院が間もなく入札予定です。診療各科はほとんど同窓生で、整形外科は森田盛緑君を立川病院より割愛をうけ、整形外科病棟も盛況となり欲を云えば医員の派遣を希望をしています。本年度神経科を新設、将来、循環器科消化器科、リハビリテーション、人間ドックを新設し、尚一五〇床程度増床の予定です。

菊 野 光 郎 28回

西教授の下で薫陶を受けていましたが家庭の都合で昨年十月開業致しました本年六月、岩原教授、西教授の御尽力により医育機関指定になり目下三十べ

ットに増築中です。御来鹿の節は是非御立ち寄り下さい。

土 田 精 一 専4回

小生、六月三十日付にて富山県立高志学園を退職、七月一日より奥島病院に勤務します。

山 内 吉 雄 五回生

文京区白山二丁目一ノ二

文京区で、外科、整形外科病院を開業して三十二年たった。長男も一人前に岩原先生から指導されたので、本年から開業のことは一任したけれども病院にいる時は診療にも手を出す。七月には、都議会議員に当選して、都政にも働く場を得た。人によっては議員などやらないで悠々自適して、老後を楽しんだらよかるうにと親切な云い方をしてくれる。私は末だ野球も、マージャンも出来る。やせているが青年と同じ様に、気力も体力も有るとうぬばれて

島中卓助 十回生

高知市追手筋五十七

鮎釣りに夢中になっておられます。

金井 宏 専三回

父と共に仕事をして居ります。

元氣です。

小暮 巽 三十一回

現在地下鉄新中野駅うらに整形外科専門診療所を建設中で、本年十月完成予定です。十一月には移転致します。

莫大な借金をしましたので今後よろしく御後援御願ひ致します。

連絡は

新住所 中野区町通五ノ七ノ十九

小林 録 郎 二六回

川崎市京町二ノ十四ノ三

小林整形外科医院

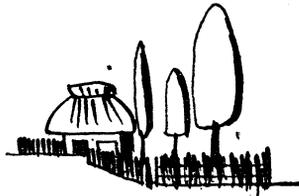
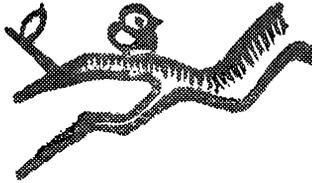
電 (〇四四) (三) 五一二三

右記の通り住居表示が変更いたしました。

松本 源 一 十六回

平市北目町八

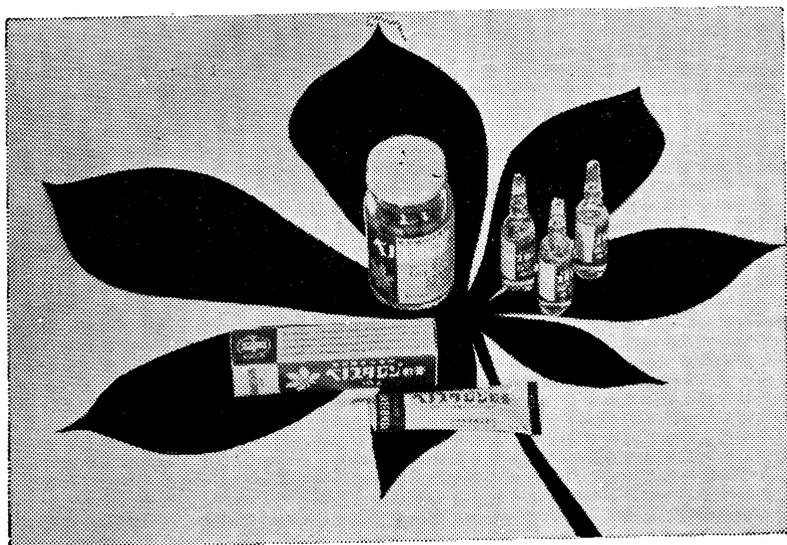
平凡な毎日を元気で暮して居ります。家族構成四人。長男日大医学部二年、長女女子大一年生



# 腫脹の消失を早める

## ベノスタジン

### 3剤型が揃いました



従来より、外傷、術後の軟部腫脹、各種血行障害の治療に①毛細血管の透過性抑制（抗滲出作用）と②静脈血の環流促進（抗うつ血作用）により速やかな改善効果を示すベノスタジンの各種剤型が揃いました。

重症には注射との併用療法を、局所的腫脹には外用剤を、夫々便利に御投与下さい。

〔包装〕 注射 5 ml 10 A 50 A…健保適用  
カプセル 100球 500球 } 新発売  
軟膏 10 g 100 g }



日本新薬株式会社

京都市南区西大路八条下ル

## 新入局者紹介

三十九年度入局者(四二回)

## 佐々木 正



昭和十二年五月三日、東京  
神田に生れ、その地に育ち、  
二十三年より渋谷に住む。

教育大学附属小学校、中学  
校より麻布高等学校を経て、  
一年浪人後三十二年慶応医学  
部進学課程入学。三十八年三  
月同学部卒業。済生会中央病  
院にてインターン生活を送り、  
田中医長始め教室の先輩  
にお世話になる。三十九年四月入局。

趣味はやる事多けれど深入りせず、学生時代はテニス  
(硬)に夢中になる。努力した割りにうまくならず、勝  
負事、強くはなけれど嫌いではなし。酒、量はゆげず。  
嫌いではなし、つき合い程度。

今年一月より須賀川の国立病院で上石先生の下に出張  
中です。

## 浅井博一

私は昭和十一年ナチス華やかにし頃、ベルリンで生ま  
れた。その頃はやり出したとみえる国際結婚のあおりを  
受けて、私の母はドイツ人、父は日本人である。

終戦後東ドイツに暮していた我々は、ある日、外国人は  
自分の国へ帰るべし、という命令を受けて、昭和二十三  
年にアメリカ経由で日本にやって来た。先ず何よりも、  
麦飯のまずい事や夏の暑い事よりも言葉の不自由がこた  
えた。言葉覚えるには日本の学校に入る事が一番の近  
道だというわけで私はいきなり成城学園中学校に入れら  
れ、初めて覚えた新語はバカヤローだった。

気の短い私の事だから気に入らない事があれば相手をな  
ぐる事は最もてっとり早い表現法と知って、そのせいか  
極く短期間に卑語だけはマスターできた。それが尾をひ  
いて今でも言葉が悪いとよく人に云われる。だが三年位  
であらゆる事になれて不自由しなくなり、浪人時代を間  
にはさみ乍ら昭和三十八年に慶大の医学部を卒業するま  
で一本道で現在までやって来た。外見が一風変っている  
らしく、一部の先輩のなかで、変な外人、で通っている  
そう云えば大学の面接で当時学長の草間先生に、君は  
日本の字が書けるか。君は赤か」と聞かれたが、や  
はり変に見えたのだろう。趣味は飲み屋でオツなつまみに  
日本酒を飲む事、その他スキー、水泳(学生時代は水

泳部だった) 囲碁、オーディオ。  
スタブレII身長一八九% 体重八九kg 整形外科は力  
仕事という悪い印象を人に与える。でも性格は意外に紳  
経質。現在大学院二年生

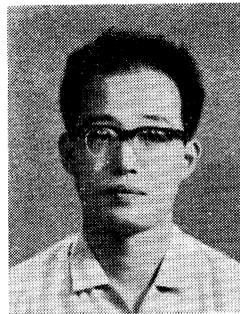
### 関 宏



昭和三十八年慶大卒(42回)  
生来、何の取柄もなく、高校  
(青山高)より大学時代には  
山登りを少々かぶり、お蔭で  
シップの何たるかは解ってい  
るつもり。

インターンは横浜警友病院  
で野間先生の御指導をうけ、  
現在は高岡市民病院で鈴木医長先生始め田中守先生、橋  
爪信晴先生に公私共々御指導を受けております。

整形には岩原先生の試験の時の日本茶の味が忘れられ  
ず入局させていたしましたが、何んにも出来ず、頭の  
弱い(体は強いです)男ですから今後共よろしくお願  
い致します。尚、未だ独身です。



### 稲垣 牡太郎

昭和十一年、日蓮宗で名高  
い池上本門寺の下、釈迦にも  
遅れじと七日に飛び出す。

この為か、生下時少々未熟児  
気味。その後は順調に育ち、  
疎開中、祖父の感化で次第に  
医の道を志す。

大学はやむなく鳥取に行き  
山陰の澄んだ空気を吸つてのんびり六年過す。昭和三十  
八年卒業を機に奮起し、戦戦の東京に帰り、専売公社東  
京病院でインターン、ここで又々のんびり一年……。  
この度、野間博先生の御口添にて入局させて戴きまし  
た。大いに頑張るつもりでありますので、先輩諸先生方  
よろしく御指導お願い致します。

趣味として、音楽を少々、下手の横ききで、かなでれ  
ば、犬までがむかつて吠えるといった程度です。

### 真崎 祐介

昭和十年、朝鮮にて生をうけ、その後、父の仕事の関  
係で、終戦迄満洲にて過ごす。



高校は九州の佐賀高校。こゝは全校生徒数が三〇〇人と云う日本一のマンモス高校。

高校時代の印象と云えば三年間野球部に籍を置き、甲子園出場を夢みて、連日一〇〇本ノックで鍛えられたことが、今となれば楽しい思い出である。

小生の野球狂は、これ以前、すなはち小学校時代に、それ迄なかった野球部を作ったことに始まる。

KOに入学した際は、何か他のものかと思ひ、硬庭に入部はしたが、一年で結局は野球部へ。

趣味はと云われればスポーツなら何でも。観戦するもよし。自分で参加するのもこれ又楽し、最近はいんターン時代に覚えたボーリングに熱中。

酒は九州男子の血をひいている為か、飲んでも、飲まれること殆んどなし。此度整形外科学を専攻することにしたが、動機と云う程のものはないけれども、以前よりスポーツ医学に興味を持っていたし、将来性と云うことで、整形外科はこれからもどんどん進歩するであろうし岩原教授の名講義も印象に残った。

## 熊谷進

生れは東京日赤産院、父の職業の関係で福岡、新京(満洲)と移り、終戦の年、帰国しました。その後中学二年迄長野県の田舎で過し、食量難には苦労しました。次いで、大学卒業迄、杜の都仙台に居りました。なんとも云つても、信州時代が懐しく、私の第一の故郷と云えましょう。第二の故郷とも云うべき仙台を去つて、インタインの年に東京へ移転、インタインは、国立東京第二病院で終え慶大整形外科医局に入局させていたゞき、今日にいたつて居ります。

現在の家族構成は、祖母(入院中)母、妹それに私の四人です。

趣味として特にとりたてて申し上げるようなものは、ありませんが、スポーツの「批評」、を一応やります。(出来もしないくせに)フレッシュマンのときは、よくボーリングに通いました。アベレージは百四十〜百五十です。現在、静岡へ出張しておりますが、こちらで六十三年ブルーボードを手に入れ、目下、東海山静地方のドタイプ征破にはげんでおります。

以上一簡單ではあります、私のプロフィールを申し上げます。

最後に、今後共、諸先生方の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

西郷 恵一郎

出身地 熊本市

昭和三十八年慶応大学医学部卒  
慶応病院にてインターン  
実施 昭和三十九年入局  
現在水戸市のひばり学園  
に出張中

大学院二年に在籍



在学中は水泳部に入学して居りました。野球、水泳等のスポーツは一通り皆んなやります。水戸へ来てから、空気の澄んだ学園のまわりを、早朝三〜四キロ走って居ります。散策や旅行が好きです。嗜好品は酒、日本酒、洋酒共に嗜みます。結婚歴一年、この八月に第一子長女が生まれました。

桶口 智久

島原の乱で有名な長崎県島原市の産、島原高校卒業後江戸へ旅に出二年間修業す。久留米大学医学部卒業。学生時代ラグビー部にて愉快な学生生活を送る。インタビューを都立広尾病院にて行い当科に入局す。

趣味多し、酒一升迄。

諸先生、先輩の御指導、御鞭撻をお願いします。

ありま とおる  
有馬 亭



昭和十二年に生る。丑年のせいか性格はのんびりして居り、大事に慌てず、万事酒を飲んで考える方である。郷里は九州であるが、幼い頃より江戸で育ち、世田谷の成城学園より慶応に来る。医学部に入った動機は、親父が政治家

をやっていた為、とかく浮き沈みが烈しいのを憂んで、我が子には地道な医者させんと勤められ、小生も一応納得して、入った訳である。

予科時代は運動をさて置き、乗馬が好きで三田の馬術部に入つては馬に乗り、その間、又アイスホッケーをやっていたので、忙しく、二年間では規程の学課を修められず、本人の希望でもう一年修学させていた。その為同級生も倍増し面識が殖えた事は今日大いに得をしたと思つている。

四谷へ来てからは今度こそ勤勉にやらんとしたが、その頃は丁度左党の方の味も覚え可成りやっていた上、運動の方も続けてやっていたので、本来のさばり癖は簡単に直らず、授業料を払って充分に講義を受けなかったのは今考えると少し損な気もする。授業に出ないと禄な事

はないもので、学部一年の夏、赤倉へ合宿に行った時、山荘に来て居られた学生部の大鳥講師を存じ上げず、酔っぱらって先生の大きな頭を二回程叩いた事がある。

翌日医学史の先生と初めて聞き鄭重に謝したものである。それ以後はかような失礼な事をせぬ様充分に気をつけている。

学部時代の成績の方はと云えば中等度で、それもその筈、同級生と四年間でBの数を競わんと、卒業式の日の遊興費を賭けて苦勞して大半のBを拾得し勝ったのである。

卒業後は、済生会中央病院でインターンをしたので整形医長の田中先生に始終お世話になり、結果として先生の勧めで医局に入った訳である。

医局に入つて一年半であるが、最初の出張の宇都宮済生会から次でそのまゝ北陸の現在居る高志学園へ『可愛い子には旅をさせろ』と云う訳で飛ばされました。

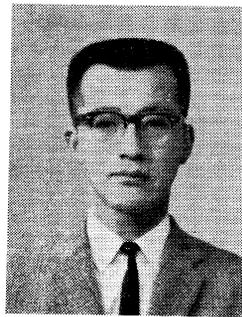
ともあれ、今後の整形の発展は我々若手の双肩にかゝっているのだから、小生のモットーとする何事にも挫けぬ精神で今後もやりたいものである。

◆ 三九年度入局者 (自己紹介文なし)

松田隆昌、阿久津寿一  
高野正好、中西芳郎

四〇年度入局者 (四三回)

柳下慶男



今から二十数年前富山で生まれました。高校迄は郷里で過ごしましたが、大学は北国の美人の多い所で学びました。誤解されない様に断つて置きますが、美人を学ぶ為ではなく学を学ぶ為に大学へ入つたのです。

一般教養は就職の心配もなく大いにのんびり過しました。運動の方は二〜三回顔を出して部費を請求されると他の部へ移る等して四回位変りました。のんびりと言うより留年しない程度に気ままに過ごしました。

学部へは安心感とこれから本当の学問が出来ると言う緊張感と二つの相反する複雑な気持ちで入つたのですが、その緊張感も授業が始まってせいゝ三日位で、元来呑気なタチで(よく言えば呑気なので、悪く言えば……皆さんの御想像におまかせします)試験があると三日位前から徹夜し暇な時は、同級生と大いに飲み歩きました。酒は強くないのですが好きです。学部へ入つてからは水泳部一本で過しましたが実力は全然伸びませんでした

好きなのは野球、水泳で自分でする方が、又ラグビーボクシングは見るのが好きです。北国で育っているながらスキーは全然駄目です。

医局へ入って間もないのですが、今后先輩諸先生方から時と場所を選ばず色々とお教授承り度いと思っております。よろしく御指導下さい

## 富士川 恭 輔

(大学院一年)

「学問一途」を売物に新入局この看板は眉唾との噂が強い。タバコは日に四、五本、酒は一摘もやらず、と真実を絶叫すれど真昼の暗黒。容貌は一見マジメそう、よく見ると実に好感のもてる青年。併し誘惑に弱く易に流れやすき感無きにも非ず。

ヤングレディには極端に親切。

成長株と自称、勉強次第では意外の大家、併し下手をするとお荷物。

少し自信過剰気味。

学生時代は籠球部のベンチを温めた。他にスキー、登山など。

現在独身、結婚歴なし。時に腰痛あり。

基本方針は大地に両足をガッチリつけてマイ進する事乞御指導。



## 津布久 雅 男

栃木県安蘇郡田沼町の日本瓦を業とす父三郎の四男に生れる。姓津布久は日本にも当地方丈の珍らしいもので

唐沢城主(田原藤太藤原秀卿公の開城になる)から拝名したものだとか、栃木県立佐野高校卒業、一年東京に遊び、慶大医学部に昭和三十三年入学、昨三十九年卒業後、整形外科を専攻す。生来、山賊の出なれば、無きよう者なれど情に篤い熱血漢、向学の徒なり、学生時代よりの岩原先生の人格、競走部先輩諸氏の導き等にて、整形外科を志す。最近の世相に悲憤し、自暴自棄せんとすること多きを感じるも、人として、医師として、世の偶石にならんことを願って努力したい。

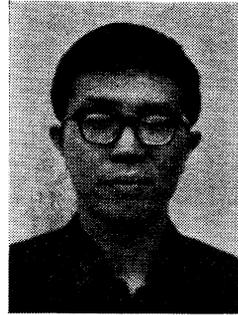
現在、日本基督教団砦教会々員

学生時代不勉強であったので、これからいろいろな本を読みたいと思っている。

無趣味であるが酒と清談を楽しむ。



## 森田孝文



私は昭和十五年二月生れで、現在二十五才です。生れは京都ですが、戦火をさけるため石川県の小松というところに移り任んでおります。

私の郷里は真宗の盛んなところで、昔一向揆で有名で、至る所にお寺があり、茶道、庭園、長唄、端唄、謡曲などが盛んで、自分ではやれないけれど鑑賞することは好きです。

中学高校時代は、数学物理が大好きでわけもわからず難解な本をかじって、物理学者になるのを夢みていました。どこかで方向がくるって、この道にすすんでしまいました。初めは理論整然として一分の隙もない物理、数学に比べ医学の雑然として、あまりにも未知、例外の多いのに驚き失望しましたが、最近になり、却ってその雑然さに興味を持ち、一生やれる自信がついてきました。

学部では弓道部でまがりなりにやってきましたが、ついにその道を知ることが出来ませんでした。他にスキーをやります。北陸育ちのため、小学頃までは長靴に小さなスキーをつけて遊んでいましたが、その後、無精にな

り寒さに億劫になり全然やりませんでした。信越を通り田舎へ行来するようになり、スキーヤーに刺戟されついに始めました。今では、秋風が吹く頃になると、ほこのかぶったスキーの手入を始めるほどの病膏盲です。

## 福田邦夫



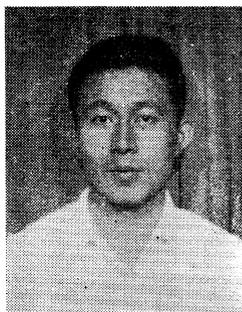
美食家の言。

神奈川県相模原生まれ、東京医大卒、趣味もなく、特別に書きたてる特徴のない、何の取り得のない者です。どうぞよろしく。

尚この写真は、学生生活最後の、北海道に遊んだ時のもので、現在より五キロやせていた時のものです。

## 小林慶二

出身校 慶応義塾大学  
出身地 広島県尾道市  
塾医学部予科に入学と同時に誘われるままに医学部端艇部に入りました。



ところが最初の夏休みに合宿に参加してみても、これはほんでもない部に入部してしまっただけでした。そこで早速先輩に退部を申し込んだところ、患者にもらった菓子等あてがわれてまるめこまれ、以後卒業までオールを握るはめとなり、途中、学校の方をすっかり忘れて漕いでいて予定より一年余分に学生生活を満喫させていただくこととなりました。

振りかえってみますと、学生時代勉強をしたという記憶はありませんが、ボートを漕いで七七年間に、距離にして世界一周近くはしたはずですが、この間に学問では得られない無形の何かを得られたようで、この七年間も無駄ではなかったと思います。学生時代は以上のようにボート中心の生活を送ってまいりましたが、入局後は学問中心の生活を送ってゆくとつもりですので、先輩諸先生方の御鞭撻をよろしく願います。

現在腹の具合が悪いので、酒、タバコは禁じられていますので、あまりお勧めにならないよう願います。

## 横山 みどり

ぬくぬくとした環境の中で育った私が、他校のしかも男性的分野である整形外科に、一大決心をして飛び込んできたのは、きびしい修業によりさぞ、身の細る、思いをするだろうという、ひそかな期待もあったからです。

この一扶の期待にもかかわらず、半年も過ぎたという今でさえ、一向に体重の減少がみられないのは、親切で優しいお兄様、お姉様のせいばかりでなく、私がいかに楽天的で図々しい精神の持主であるかということ、今さらながら痛感せざるを得ません。

しかしながら、私は今一生かゝっても頂上にたどりつけない整形山のふもとに、一歩足を踏み入れたのだと考えば、この体力が役に立つのだと思います。

## 斉藤 守

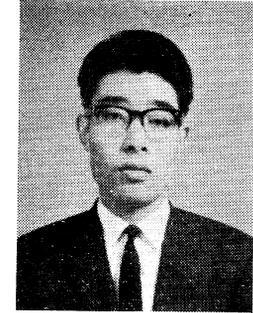
骨医者となりぬ

水清き天作川の河口、肥沃なデルタ地帯、三州寺津に、大東亜戦争勃発の年、うぶ声をあげ、風光明媚な三河湾を庭とし、川遊び、みずあび、お医者さんごっこで幼少年期を過ごし、新制中学にすゝみ、



晩熟ながら、やっと乙女心を知り、三河慢才を聞きながら高校時代は人格に目覚め、学問その他諸々一すじに生きる。一寸先は闇、運命の女神に一回だけウインクされ晴れて憧れのKOボーイとなりぬ。学生時代は、独立自尊の福沢精神を学び、夏は水泳部で根性を作り、冬はスキーで足腰をきたえ、春秋は演劇部でチェーホフに酒タバコを教わり、その合間に、講義にはかゝさず出席、人生を豊富に、有意義に為さんと努力!! 花のインターンは横浜で、アッペ、ラミネク、カイザーで医の道に近道なしの金言を守り、ほぞをかためて骨医者之道を選ぶ。六ヶ月間のイントロは、骨医者三十六年の七十二分の一遠く、はるけく、ゆかんかな。

## 村田 光



整形外科教室に入局して六ヶ月、独立する日を間近に控え、外来、病室、手術とかけまわりながらフレッシュマンでも患者に信頼され得るという満足感と不安感のまじった複雑な気持ちにとらわれている今日此頃です。

満州で小児科医の長男として生れ、終戦後、富山に引き揚げ、医学部入学後は持ち前の負けず嫌いを発揮して

ボート部生活を過し、合宿生活の為、親元へはほとんど帰らず、悪くいえば親不幸の最たるもの、良くいえば独立自尊を実践し得たとひそかに思っている次第。

小児科に未練のある父を口説き整形外科を専攻して以来、つい安易に溺れ、冷汗をかかす事もしばしば、毎日が反省の連続で、学生時代に養った、根性、も中々発揮出来ません。

毎日の生活に、慣れてしまいう、事なく、巾広く物事を吸収し、食欲に物事を見つめる意欲を忘れず医局生活をおくるつもりです。

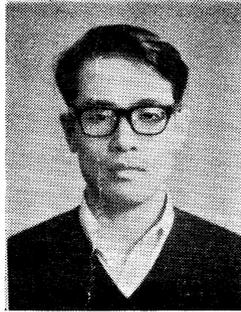
諸先輩方の御指導をお願い致します。

## 宇田 正長

一九三七年、大東亜戦争の勃発をひかえて、風雲急を告げている、満州事変記念日の九月十八日に名古屋にて生まれました。

以来、学習院初・中等科、日比谷高校、慶応大学医学部と、メイ門校を渡り歩き、今春整形外科に入局しました。

戦争中は疎開先で芋がゆもたっぷり食いました。大学では人生を太く長く楽しんだので、ゴルフ(ハンディ16)スキー(一級)水泳(神伝流指範)その他のスポーツにも色々親しみ、性格にも丸味が出来、万事樂觀的であります。今シーズンよりスキン・ダイビングとモーター



カー・レーシングをレパートリーに加え、土・日曜を有意義にすごしています。

最近では身体の方もとみに丸味を帯び、ズボンの縫目をなおすこと数回、とうとう間に合わずに新調のやむなきに至りました。

目下のところ、周囲からやい／＼云われる嫁さんの話を、のらりくらり、たくみにかわしています。

## 水口 外茂次

生れましたのは加賀百万石の城下町金沢市でございます兼六園を庭に持った彼は、清い心を持って中学二年生の頃でしたか、江戸へ出て、医者を目ざして頑張ったのでした田舎者の彼に世間の風は冷く、二年も浪人生活を送った

のです。やっと願いがかなって慶応大学に入ったのですが、もと／＼田舎者の彼には、先輩から医者の社会のつまらなさを聞かれ、当世をふうびしていたマージャンのトリコになってしまったのです。

手が大きいためか、いつのまにかサッカーのゴール、キーパーになっていたのです。自慢話にいねむりをしながら優勝したことがあるそうです。

昨年のことですが、中米へ一ヶ月間旅行したためか、日本女性に開眼したとでも云うのでしょうか、一女性と結婚してしまったのです。今じゃ、あわねな恐妻家なのです。

もともと頭がよかったのでしょいか、ほとんど勉強しないでECFMGの試験を一回で受かったのですよ。

## 三九年度入局者追加分(四二回)

### 富田 勸

小生昭和十三年世の中の一歩安定している時代両親ともに医師の二男坊として世に出るも二才の時、母を脳溢血にて失い、以来親戚等に世話となり家族的雰囲気重視する人間性を獲得、以来学及ばず都落ちとなり三十八年新潟大学医学部を卒業。

インターンは雪の情緒をすて／＼やはり学問はすべて中央と考え改めの中野組合病院にて一年間丁度動機にて整形外科に入局を決意するも母校に帰局すべきか迷うも学問は中央という最初の決意を守り慶応へ。

入局以来先輩諸先生方の御指導を仰ぎ整形形外科医の厳しい訓練にたえて行く心算です。

入局最初のオーベンが平林先生のかゆい所に手のとどく御指導の中に厳しさを持った雰囲気は今もってよみがえり心に鞭を打ってくれます。

今後とも先輩諸先生方の良き御指導を仰ぎたく、こゝにお願いするとともに大いに冷酷な程に厳しく御指導を仰ぎたくお願い申し上げます。

愚文ですが入局の言葉としてここに書き印す次第です。

# 教室の業績

## 論文

内西兼一郎 体力科学 12巻 (4)号 39年4月

先天性橈骨小頭脱臼——その治療について——

月村泰治 整形外科 15巻 (1)号 39年1月

交叉靭帯形成術における各種核心材料の比較研究  
新井 凖 日整会誌 38巻 (4)号 39年4月

Follow-up Study on Surgery of Cervical

Central Disk Protrusion

野末 洋 日、外、宝 33巻 (1)号 39年1月

ミエログラフイーの乱用を戒める椎間板ヘルニアの症例  
山口雅成 整形外科 15巻 (5)号 39年5月

牽引条件の骨長径成長に及ぼす影響に関する実験的研究

月村泰治 日整会誌 38巻 (3)号 39年3月

第一線病院に於ける新鮮開放創の治療成績

桜田允也、稻村訓昌、花岡英弥、奥島平八郎  
災害医学 7巻 (5)号 39年5月

末梢神経麻痺

池田亀夫、木住野喜義 診断と治療 52巻 (3)号 39年3月

頸胸部脊髓蔓状血管腫の症例

細川昌俊 脳と神経 16巻 (6)号 39年6月

骨端線欠除成長骨の長径成長に関する研究

山内健嗣 日整会誌 38巻 (3)号 39年3月

青色鞏膜を伴ったEhlers-Danlos症候群の症例

月村泰治 整形外科 15巻 (7)号 39年6月

排球及び野球にみた第一肋骨骨折の症例

生活能力の面よりみた退園CPの実態調査

特に職能療法との関連について

月村泰治 療育 5巻 39年7月  
藤田幸恵

第三七回日本整形外科学会総会傍聴記

池田亀夫 臨床外科 19巻 (7)号 39年7月

後療法病院よりみた骨折治療の一面

齋藤正也 整形外科 15巻 (9)号 39年8月  
河野通隆

シンポジウム「重度上肢奇形」(8) 診療経験と考察

池田亀夫 整形外科 15巻 (10)号 39年8月  
加藤哲也  
山根宏夫  
八木二郎

頸部椎弓切除後の偶発事故例

山根宏夫 災害医学 7巻 (8)号 39年8月

広範囲椎弓切除後の脊柱の態度

村上宝久 手術 18巻 (9)号 39年9月  
並木見久

脊椎髓内瘍について

長谷川善吉 外科 26巻 (10)号 39年10月

家系発生をみた *Dysostosis generalisata* の定型的二症例

藤原由利夫 整形外科 15巻 (19)号 39年11月  
内西兼一郎

膝関節内側々副韌帯損傷の治療の吟味

今井 赤坂勤二郎 日整会誌 37巻 (12)号 39年12月  
田中 守

東京オリンピックを顧りみて

花岡英弥 整形外科 16巻 (1)号 40年1月

頸部脊椎症とその治療

泉田重雄 診療 18巻 (3)号 40年3月

示唆に富んだ外傷性橈骨小頭脱臼例について

平林 湧 整形外科 16巻 (3)号 40年3月

肩関節の *Osteochondromatosis* 症例

劔持政男 癌の臨床 11巻 (4)号 40年4月

我々の頸部椎間板造影法について

平林 河野通隆 日整会誌 39巻 (4)号 40年4月

椎間板ヘルニアにおける黄靭帯の組織像

細川昌俊 日外宝 34巻 (3)号 40年5月

Photo-elastic Study on Lumbosacral Spine Fusion

大谷 清 日外宝 34巻 (3)号 40年5月

直腸穿孔をきたした巨大な仙骨巨細胞腫

石名田洋一 山田 伸明 外科 27巻 (5)号 40年5月

末梢神経圧迫麻痺の電気生理学的研究

菅野卓郎 日外宝 34巻 (3)号 40年5月

脳性小児麻痺における味覚および嗅覚異常に関する臨床的觀察

月村泰治 宮本 建 整形外科 16巻 (7)号 40年6月

大伏在静脈周囲に多発した海綿状血管腫の症例

吉沢英造 外科 27巻 (6)号 40年6月

27 ミエログラフィー Diagnosis of Spinal card

Diseases by Myelography

泉田重雄 臨床神経学 5巻 (7)号 40年7月

癱性麻痺手に対する母指対立機能再建手術術式の比較

矢部 裕 整形外科 16巻 (10)号 40年8月

遠位橈尺関節の外傷性傷害について

——そのX線の觀察——

内西兼一郎 整形外科 16巻 (10)号 40年8月

脊髓膜病巣を後遺した粟粒結核の手術治験

山田 勝 日外宝 33巻 (5)号 39年9月

肩甲軌音症について

吉岡義之 整形外科 16巻 (11)号 40年9月

頸部脊椎症の臨床像

赤坂勁二郎 田辺 雅久 臨床神経学 5巻 (1)号 40年1月  
細川 昌俊

外傷性足関節脱臼の治療

大谷 清 災害医学 7巻 (3)号 39年3月

# 学会報告

慶大整形外科三五年間の骨盤腫瘍二八例について

柴垣栄三郎 三〇六整形外科集談会 三九、一、二五

ポリオにおける膝外反変形について

米谷晴夫 三〇六回整形外科集談会 三九、一、二五

いわゆる Kantentrennung の Schmorl 発生説を实证する

臨床手術例 土方貞久 三〇七回整形外科集談会 三九、二、二二

岩原寅猪 五回日本神経学会 三九、三、二二

myelography について (特別講演)

所謂馬尾上衣腫の起源について 鈴木三夫 五回日本神経学会 三九、三、二二

脊髄腫瘍のまとめ (自家九三例を中心)

泉田重雄 五回日本神経学会 三九、三、二二

池田彬

頸部椎弓切除後の偶発事故例 山根宏夫 三〇八回整形外科集談会 三九、三、二二

活動の各相における関節滑膜の組織化学的電子顕微鏡的研究

池田彬 三七回日整会総会 三九、四、二

骨端線早期閉鎖の組織酵素化学的研究

伊勢亀富士朗 三七回日整会総会 三九、四、二

補形的関節部分切除に関する基礎的研究

鈴木三夫 三七回日整会総会 三九、四、二

大伏在静脈周囲口に多発した海綿状血管腫の症例

吉沢英造 三〇九回整形外科集談会 三九、五、三〇

習慣性腓骨筋腱脱臼に対する Du Vries 手術の経験

加藤哲也 三〇九回整形外科集談会 三九、五、三〇

肩関節 Osteochondromatosis の症例

劍持政男 三二〇回整形外科集談会 三九、六、二七

Hyperostosis generalisata の二例

石下峻一郎 三二〇回整形外科集談会 三九、六、二七

先天性斜頸の徒手矯正の限界

奥島平八郎 一三回東日本臨床整形外科科学会 三九、九、四  
城所靖郎

頸部椎間板症の Discogram 第一報頸部脊髓症

平林 潤 二三回日本脳神経外科科学会 三九、九、二三  
河野通隆

観血的整復を要した先天性股脱の関節所見

泉田重雄 一三回東日本臨床整形外科科学会 三九、九、四  
山口雅成

横腰移行部椎間枯ヘルリアの前方侵襲

池田亀夫 二三回日本脳神経外科科学会 三九、九、二三  
池田彬

自家組織片の関節内における運命に関する研究

富田恭弘 一二回日本災害医学会総会 三九、九、一四

脊髓腫瘍に見る椎骨の変化

田辺 碩 三一二回整形外科集談会 三九、一〇、二四

膝関節十字靭帯損傷の手術成績の吟味

今井 望 一二回日本災害医学会総会 三九、九、一四  
田中 守

多発性軟骨性外骨腫と趾短縮症の合併例の家系

高橋 淳 三一二回整形外科集談会 三九、一〇、二四

椎間板ヘルニアにおける黄靭帯の組織像

細川昌俊 三一一回整形外科集談会 三九、九、一九

下胸部潜在性脊椎披裂に見た遅発性脊髓麻痺の症例

梅沢文彦 三一二回整形外科集談会 三九、一一、一九

直腸に穿孔を来したした仙骨巨細胞腫の症例

石名田洋一 三一一回整形外科集談会 三九、九、一九

乳幼児の弾撥指について

宗近 靖 三三四回整形外科集談会 三九、一二、一九

指骨に発生せる類上皮震腫の例

難波健二 三一一回整形外科集談会 三九、九、一九

胫骨下端腓側外骨髄の二例

城所靖郎 三二五回整形外科集談会 四〇、一、二三

翼状肩甲骨について

宮本 建 三一六回矯正外科集談会 四〇、二、二七

先天性亀背に対する骨切り術のころみ

長谷川善吉 三一七回矯正外科集談会 四〇、三、二七

上腕神経叢に発生した興味ある神経腫の一例

野村 勇 三一七回矯正外科集談会 四〇、三、二七

脊髄性小児麻痺下肢における膝変形の

発生機序に関する実験的研究

米谷晴夫 三八回日整会総会 四〇、四、一

腰椎荷重軸に関するレ線的研究

山口 義臣 三八回日整会総会 四〇、四、一  
内西兼一郎

脊椎の癒合癒着が隣接椎に及ぼす影響についての

光弾性実験的研究

山口雅成 三八回日整会総会 四〇、四、一

環境因子の実験的 瘍に及ぼす影響に関する研究

小林 進 三八回日整会総会 四〇、四、一

下腿骨折治療における腓骨

河野通隆 三一九回矯正外科集談会 四〇、六、二六

横隔膜神経麻痺を伴った外傷性腕神経叢麻痺

宮原康員 三一九回矯正外科集談会 四〇、六、二六

先天肢腕の関節造影の吟味

赤坂勤二郎 一四回東日本臨床整形外科学会 四〇、九、三

脊椎後方迂り症の正体

河野通隆 一四回東日本臨床整形外科学会 四〇、九、三

O脚とX脚

北野正人 三二〇回矯正外科集談会 四〇、九、二五

腰仙部奇型腫並びにその類症のいろいろの表現

山崎正一 三二〇回矯正外科集談会 四〇、九、二五

Our approach to the Spinal Body

岩原寅猪 日本メキシコ整形外科懇談会 四〇、九、六

骨腫瘍の診断と病理

池田亀夫 二四回日本癌学会 (シンポジウム) 四〇、一〇、一四

骨腫瘍の移植における腫瘍細胞の超微細構造

並びに組織化学的研究

北野 正人 二四回日本癌学会 四〇、一〇、一四  
芝田 仁

われわれの脊椎カリエス根治手術

(病巣廓清、骨移植のその後の成績)

花岡英弥 三二一回整形外科集談会 四〇、一〇、二三

整形外科における問題行動

芝田 仁 三二一回整形外科集談会 四〇、一〇、二三

肩凝りの病態

岩原寅猪 二四回日本脳神経外科学会 四〇、一一、二  
平林 洵  
河野通隆  
土方貞久

X線映画による椎間板の動態に関する研究

平林 洵 二四回日本脳神経外科学会 四〇、一一、二  
河野通隆

脊髓空洞症、脊髓水腫症の手術

山根宏夫 二四回日本脳神経外科学会 四〇、一一、二

脊椎腫瘍の根治手術

池田亀夫 三回癌治療学会 四〇、一一、三  
北野 正人  
芝田 仁

深大な放射線照射による局所障害例

加藤哲也 三回癌治療学会 四〇、一一、四

The Situation of Osteoarthritis in Japan

岩原寅猪 国際リハビリテーション学会 四〇、四、一四

Experimental Study on the Transplantation of the

Epiphyseal Cartilage Plate

岩原寅猪 西太平洋整形外科学会 三九、八

椎体前方侵襲路について

池田亀夫 二五回北海道整災会 四〇、六、一二



義肢コルセット及整形外科器械

岩原式四肢万能牽引装置

身体障害者用補助車一式

株式 河村製作所  
会社

社長 河村 孝信

東京都豊島区西巣鴨2~2445番地

電話池袋 (971) 0256・0257番

義肢整形器械製作

慶応病院整形外科御用

合資 溝口製作所  
会社

社長 溝口 政雄

東京都台東区池ノ端七軒町51番地

電話駒込 (821) 3817・(828) 6403番



新発売！

肩こり・頭重・イライラなど  
不定愁訴に！

のんでほぐれる…肩こり・腰痛治療剤

# トランコパール

**不定愁訴とは** これといった病気もないのに、肩や首がこる、腰が痛む、イライラする、頭が重いなどと体の不調を訴える人を不定愁訴があるといいます。

トランコパールは「トランキラキサント」と呼ばれる全く新しいタイプの薬で、のむだけで、この不定愁訴に、すぐれた効きめがあります。

筋肉のこりがほぐれて脳への血行もよくなるので、気分もさわやかになり、夜の安眠もできるようになります。

★肩こり・腰痛・背痛・五十肩・六十肩・高血圧などに伴う肩こり・頭重・不安感・ねんざ・骨折・スポーツ後の筋肉痛・更年期障害・月経困難症など。



第一製薬  
東京・日本橋

(包装・価格)

●12錠 280円 ●30錠 650円 ●60錠 1,250円

# 人事

## (掃局)

富田 恭弘 小田原市立病院 三八、十二  
 村尾 真俊 中南国保病院 三八、十二  
 劍持 政男 社保埼玉中央病院三八、十二  
 奥島平八郎 足利赤十字病院 三八、十二  
 石下峻一郎 済生会中央病院 三八、十二  
 高橋 惇 日立栃木病院 三八、十二  
 田辺 碩 足利赤十字病院 三九、一  
 山崎 正一 済生会宇都宮病院 三九、一  
 宮本 建 福島療護園 三九、一  
 石名田洋一 中野組合病院 三九、二  
 矢部 裕 長島愛生園 三九、三  
 山田 勝 高志学園 三九、十一  
 赤坂勤二郎 済生会中央病院 三九、十二  
 内西兼一郎 宇都宮済生会 三九、十二  
 城所 靖郎 中南国保病院 四十、一  
 芝田 仁 小田原市立病院 四十、一  
 河野 通隆 足利赤十字病院 四十、一  
 岩田 清二 済生会宇都宮病院四十、一  
 高尾 徹二 高岡市民病院 四十、一  
 大場 良臣 足利赤十字病院 四十、一

## (出張)

土橋 善藏 静岡赤十字病院 四十、一  
 宮原 康員 芳賀赤十字病院 四十、二  
 高江洲 明 公立岩瀬病院 四十、一  
 小林 利昭 埼玉中央病院 四十、二  
 新垣 敏雄 国立塩原温泉病院四十、二  
 吉岡 義之 高岡市民病院 四十、三  
 伊勢亀富士朗 川崎市立病院 四十、六  
 大谷 清 大田原赤十字病院四十、七  
 池田 彬 足利赤十字病院 四十、七  
 山田 勝 高志学園 三八、十二  
 小林 利昭 社保埼玉中央病院三八、十二  
 浜野 恭之 都立台東病院 三八、十二  
 石井 良章 済生会中央病院 三八、十二  
 岩田 清二 済生会宇都宮病院三八、十二  
 高尾 徹二 高岡市民病院 三八、十二  
 栗山 栄 国立栃木病院 三八、十二  
 大場 良臣 足利赤十字病院 三八、十二  
 土橋 善藏 静岡赤十字病院 三八、十二  
 内西兼一郎 済生会宇都宮病院三九、一  
 芝田 仁 小田原市立病院 三九、一  
 宮原 康員 芳賀赤十字病院 三九、一  
 城所 靖郎 中南国保病院 三九、一

横井 正博 中野組合病院 三九、二  
 北野 正人 済生会中央病院 三九、二  
 山口 雅或 福島整肢療護園 三九、二  
 河野 通隆 足利赤十字病院 三九、二  
 吉岡 義之 高岡市民病院 三九、三  
 伊勢亀富士朗 川崎市立病院 三九、七  
 大谷 清 大田原赤十字病院三九、七  
 池田 彬 足利赤十字病院 三九、七  
 望月 研一 静岡赤十字病院 三九、七  
 未安 誠 太田病院 三九、八  
 米谷 晴夫 中野組合病院 三九、一〇  
 真崎 祐介 国立栃木病院 三九、一一  
 小林 進 済生会中央病院 三九、一一  
 田辺 碩 小田原市立病院 三九、一一  
 関 宏 高岡市民病院 三九、一一  
 稲垣壮太郎 ひばり学園 三九、一一  
 富田 勤 福島整肢療護園 三九、一一  
 高野 正好 川崎市立病院 三九、一一  
 松田 隆昌 国立塩原温泉病院三九、一二  
 山口 雅成 東京電力病院 四〇、一  
 石名田洋一 済生会宇都宮病院四〇、一  
 高橋 惇 社保埼玉中央病院四〇、一  
 宮本 建 市立清水綜合病院四〇、一  
 有馬 亨 済生会宇都宮病院四〇、一

佐々木 正	公立岩瀬病院	四〇、一
熊谷 進	静岡赤十字病院	四〇、一
樋口 智久	足利赤十字病院	四〇、一
劔持 政男	芳賀赤十字病院	四〇、二
山崎 正一	足利赤十字病院	四〇、二
石下峻一郎	国立塩原温泉病院	四〇、三
柴垣榮三郎	国立小児病院	四〇、四
野村 勇	国立東京第二病院	四〇、四
平林 洌	公共組立川病院	四〇、五
阿久津寿一	警友病院	四〇、六
長谷川善吉	川崎市立病院	四〇、七
村尾 真俊	足利赤十字病院	四〇、七
伊川 禎治	済生会神奈川県病院	四〇、七
北野 正人	都立台東病院	四〇、七
浜野 恭之	済生会中央病院	四〇、七
稲垣壮太郎	浜松赤十字病院	四〇、七
細川 昌俊	大田原赤十字病院	四〇、八
田中 守	高岡市民病院	四〇、八
山崎 正一	国立塩原温泉病院	四〇、九
石下峻一郎	足利赤十字病院	四〇、九
有馬 亨	高志学園	四〇、九
富田 恭弘	ひばり学園	四〇、一〇

(新任・開業)

菊野 光郎	開業	三九、一〇
森田 盛緑	国立埼玉病院整形外科医長	四〇、四、一
木住野喜義	立川病院整形外科医長	四〇、四、一
桜田 允也	済生会神奈川病院 整形外科医長	四〇、七、一
今井 望	足利赤十字病院整形外科医長	四〇、七、一
矢部 裕	医局長	四〇、七、一
沖永 明	社保大宮病院整形外科医長	四〇、七、二〇
辻 啓一	高志学園医務課長	四〇、七、二〇
榊田喜三郎	東邦大学助教	四〇、七、二二
土田 精一	奥島病院	四〇、八、一
春日 秀彦	ひばり学園園長	四〇、一〇、一
泉田 重雄	国立小児病院整形外科医長	四〇、一〇、一
今井 望	講師	四〇、一〇、一

(留学・外遊)

木城卓二、岡田衛生、鷺谷澄夫、菅野卓郎  
松田隆昌

(帰国)

野口朝生、大河内令子、藤野豊美  
福田宏明

(結婚)

村尾、山根、大場、水口、平林、山口、  
内西、藤野、小林(慶)

(長子誕生)

芝田、土橋、高尾、細川、花岡、河野、  
吉岡、西郷奥島、土方

(御見舞)

関、池田(亀)、佐藤、金井(司)、高野守

(弔)

金井(司)↓御母堂、小林(利)  
湯山↓本人、平林↓御母堂、  
今井(銀)↓御母堂、山内(吉)↓御母堂  
野末↓御母堂、弓削↓本人

(新入会員)

富士川恭輔	大学院	43回	四〇、四、一
津布久雅男	"	"	"
小林慶二	助手	"	"
水口外茂次	"	"	"
森田孝文	"	"	"
村田光	"	"	"
齋藤守	"	"	"
宇田正長	"	"	"
福田邦夫	"	東医	"
柳下慶男	"	新大	"
横山みどり	"	東女	"
古川省三	専攻生	東医	"

昭和四〇年度同窓会総会報告

(昭和四〇年一月二〇日)  
於 ホテルニュージャパン

会計報告

現金の部

収入	九八、七二五
支出	六八、八四五
残高	二九、八八〇

収入内訳

前年度繰越金	一〇、五一一
会費収入	五七、四二五
振替貯金より	二八、〇五〇
利子収入	二、七三九
計	九八、七二五

支出内訳

人件費(賞与)	一一、一二五
文通費	一〇、三八〇
交通費	五、一〇〇
文具費、雑費	七、二四〇
慶弔費	二〇、〇〇〇
御見舞	五、〇〇〇
計	五八、八四五

教授退職記念事業へ

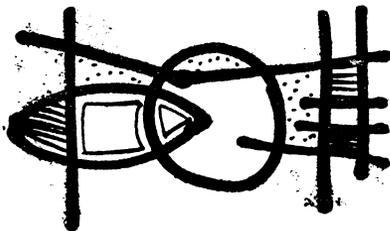
(貸与)	一〇、〇〇〇
計	六八、八四五

振替の部

収入	一〇六、八三七
支出(現金化)	二八、〇五〇
残高	七八、七八七

収入内訳

前年度残高	三三、七七七
会費収入	七四、〇〇〇
利子収入	六〇
計	一〇六、八三七



やっと、本当にやっと“ふるさと”を先生方にお届けすることが出来ました。こんな小冊子でも、医局の仕事の合間に、皆様に読んで頂ける形にするには、それなりの難しさがあることを身にしみて知り、現在ほっとした気持ちで一杯です。

本号は、各地の外遊記を中心とした形になりました。伸びゆく教室の一断面を示し得たものと自覚しております。鬼が笑うかも知れませんが、来号には世界各国からお持ち帰りになった種子が日本の土壌でどの様な芽を出したか、それにはどの様な苦労があられたかもお寄せ頂けたらと、例年の如く記事集めに苦労した者として、いささかのうらみ言も兼ねて、早手回しにお願い申し上げ次第でございますでは先生方、どうぞよいお年をお迎えになりますように。

## ふるさと

慶応義塾大学医学部  
整形外科同窓会会誌

## 第五号

昭和四十年十二月五日 印刷

昭和四十年十二月十日 発行

編集発行人 岩 原 寅 猪

印刷所 日浩印刷株式会社

東京都北区岸町二ノ八  
電話(五二)二七六三番

発行所 慶応義塾大学医学部  
整形外科同窓会

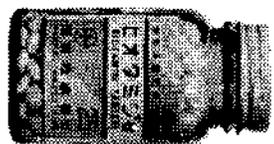
東京都新宿区信濃町三五  
電話(三三)一一一一番

振替口座番号 東京一四二九八二

加入者名 慶応義塾大学医学部  
整形外科同窓会

(非売品)

大量投与を行なっても  
無臭！胃腸障害がない！



## 効果の高い薬力型

●無臭・持続性・新型活性ビタミン剤

社保適用

# ビオタニン

ビオタミンは種々の特性で、すぐれた効果を発揮している薬力型の活性型ビタミンです。他剤で難治の症例にも、ビオタミンの大量療法が強力な効果を発揮します。しかも胃腸障害を起す心配もありません。

- 腸管からの吸収が良いので、投与量に応じた高い組織内濃度が得られます。
- アノイリナーゼによって壊されませんから、効果的な大量療法が行なえます。
- 完全無臭・化学的に安定なビオタミン散は、調剤に便利です。

疲労・神経痛・リウマチ・  
神経麻痺・便秘・病後、術  
後の体力増強・心疾患・妊  
産婦・眼精疲労・聴覚障害  
浮腫・夜尿症等に

5mg錠・25mg錠・50mg錠・100mg錠  
100倍散・10倍散・細莖粒(10%)



三共株式会社

る  
る  
と  
愛  
心  
義  
塾  
大  
学  
医  
学  
部  
整  
形  
外  
科  
同  
窓  
会  
誌

1  
9  
6  
5  
・  
5  
号